

# 福山市次世代育成支援対策推進行動計画

## 年次報告書

〈2005年度(平成17年度)〉

2006年(平成18年)6月

福山市

## 目 次

総 括	1 頁
目標数値等の変更について	3 頁
個別事業の実施状況等報告書（継続事業）	4 頁
個別事業（新規事業）報告書	3 8 頁

# 2005年度(平成17年度)実施状況 総括表

## 基本理念

みんなで創る 子育てNo.1 ONLY.1のまち ふくやま

## 基本目標

みんなで創る 新しい生命に出会い、育てる幸せを実感できるまち  
 みんなで創る 子どもが希望をもって 生き生きと育つ喜びのあるまち  
 みんなで創る 心と心で支え合う やさしさあふれる子育てのまち

### 基本方針 1 安心できる母子保健の推進

基本施策	指 標	現状値(計画初期値)	2005年度実績	目 標 値	ま と め
<b>1 妊娠・出産期の支援</b> ・全小学校区1名以上の「子育て支援ボランティア」の配置(養成) ・「訪問指導(すこやか育児サポート事業、産後うつ病質問票を使用した訪問)」の推進	ボランティアの配置	52小学校区(2004年度)	59/78小学校区	全小学校区(2012年度)	妊娠中から乳児期の育児不安の解消を図る「すこやか育児サポート事業」や声かけ訪問、子育ての情報提供を行う「子育て支援ボランティア」の養成を推進した。次年度以降、早期に全小学校区に1名以上のボランティアを養成する。 また、乳幼児健康診査の受診率向上の取り組みや、保健師等による「乳幼児健康相談」などを実施し、乳幼児の心身の健全な発育・発達を支援した。
<b>2 乳幼児期から思春期までの保健対策</b> ・健康診査(乳児一般、4か月児、1歳6か月児、3歳児)の受診率向上 ・予防接種の勧奨と情報提供  ・学校の無煙化の推進	ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握及び支援  受診率(1歳6か月児) 受診率(3歳児)  BCGの予防接種終了児童(6か月児) 麻しんの予防接種終了児童(1歳6か月児) 校内全面禁煙校	データなし  89.0%(2001年度) 82.4%(2001年度)  データなし  70.0%(2001年度)	すこやか育児サポート事業:49件 産後うつ病質問票を使用した訪問件数:1,819件  90.5% 84.8%  96.9% 83.3%	100%(2012年度)  95%以上(2012年度) 90%以上(2012年度)  90%以上(2012年度)  90%以上(2012年度)  全校実施(2007年度から)	
<b>3 楽しい育児の実現</b> ・乳幼児健康相談の実施					
<b>4 小児医療の充実</b> ・在宅当番医、小児二次救急輪番体制の充実、福山市医師会による夜間小児診療所の診療の充実					
2005年度実施状況 休日昼間当番医 7医療機関 毎夜間二次診療 小児診療4医療機関 夜間小児診療所(福山市医師会館)					

### 基本方針 2 子育て家庭に対する支援の充実

基本施策	指 標	現状値(計画初期値)	2005年度実績	目 標 値	ま と め
<b>1 保育所その他の施設での保育サービスの充実</b> ・保育を必要とする児童の全員入所を基本に、保育内容の充実、保護者の就労形態や生活実態の変化に対応した保育サービスを提供  旧神辺町行動計画分(別掲)	保育所入所児童数 延長保育実施箇所数 1時間延長 2時間延長 3時間延長  休日保育実施箇所数 病児・病後児保育実施箇所数 一時保育の1日あたり最大受入児童数 実施箇所数 夜間保育実施箇所数  ショートステイ実施箇所数 トライライト実施箇所数 協力会員数	10,755人(2004年度) 1,118人(2004年度)  103箇所(2004年度) 11箇所(2004年度)  3箇所(2004年度) 1箇所(2004年度)  1箇所(2004年度) 0箇所(2004年度)  3箇所(2004年度) 3箇所(2004年度)  2箇所(2004年度) 0箇所(2004年度)  81人(2004年度) 55人(2004年度)  2箇所(2004年度) 0箇所(2004年度)  2箇所(2004年度) 0箇所(2004年度)  2箇所(2004年度) 0箇所(2004年度)  114人(2004年度)	10,907人 1,172人  103箇所 11箇所  3箇所 1箇所  1箇所 0箇所  3箇所 3箇所  2箇所 0箇所  153人 16人  2箇所 0箇所  2箇所 0箇所  2箇所 0箇所  153人	12,000人(2009年度)  105箇所(2009年度) 13箇所(2009年度) 4箇所(2009年度) 0箇所(2009年度)  5箇所(2009年度) 4箇所(2009年度)  5箇所(2009年度) 1箇所(2009年度)  75箇所(2009年度)  2箇所(2009年度) 0箇所(2009年度)  2箇所(2009年度) 1箇所(2009年度)  2箇所(2009年度) 0箇所(2009年度)  160人(2009年度)	保育を必要とする児童の全員入所を基本に保育を実施し、待機児童は発生していない。 また、延長保育、休日保育、一時保育、病後児保育、夜間保育を実施し、利用者も増加しており、保護者の多様な保育ニーズに対応してきた。  多様な子育て支援ニーズに対応する地域子育て支援センター事業や放課後児童クラブ事業の充実を図るとともに、子育て支援情報のガイドブックを発行し、子育て家庭への情報提供を推進した。 また、乳幼児等医療費助成の対象年齢拡大や、幼児インフルエンザ予防接種費補助を実施し、子育て家庭に対する経済的な支援を充実した。 「不妊治療扶助」については、2006年度から助成対象期間を2年から5年に延長する。
<b>2 地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実</b> ・地域子育て支援センター事業の充実 子育て応援センター、保育所を拠点として子育て家庭への子育て支援事業を展開					
<b>3 子育て家庭に対する情報提供の充実</b> ・2005年6月、「子育て支援ホームページ」の開設、2006年1月、「子育て支援ネットワーク」の構築、同3月、「あんしん子育て応援ガイド」を発行					
<b>4 子育てと仕事の両立支援の推進</b> ・放課後児童クラブ事業 保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に小学校等の施設を利用して、適切な遊びや生活の場を提供	実施箇所数	67箇所(2004年度) 8箇所(2004年度)	67箇所 8箇所	74箇所(2009年度)	
<b>5 子育て家庭に対する経済的な支援</b> ・2005年4月から「乳幼児等医療費助成」の対象を小学校3年生までから6年生(入院のみ、通院は就学前まで)までに拡大 ・「幼児インフルエンザ予防接種費補助事業」を創設 ・不妊治療扶助					

目標値及び指標を変更したのも

従来の福山市の目標値を継続するもの

基本方針 3 次代を担う世代の育成					
基本施策	指 標	現状値(計画初期値)	2005年度実績	目 標 値	ま と め
<b>1 生きる力を育成する学校の教育環境の整備</b> ・適応指導教室「かがやき」の運営, スクールカウンセリングプロジェクト事業の推進等(不登校対策)  ・英語指導助手の増員(英語教育の推進)	児童生徒の健全育成の啓発, 指導		暴力行為, いじめ: 大幅に減少 不登校児童生徒数: 減少傾向	暴力行為, いじめ, 不登校児童生徒数の半減	学校教育においては, 確かな学力の向上や英語教育, 読書教育のための環境の整備を図るとともに, 適応指導教室の運営やスクールカウンセリングプロジェクト事業を推進し, 不登校対策を充実した。 また, 地域子ども教室の内容充実や, 子育て支援ボランティアの養成等を通して, 地域住民の子育て力の向上の支援と連携を図った。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         2006年度新規事業                          * 少人数指導推進支援事業                          * 学校評価推進事業                          * キャリア教育推進事業                          * (仮称)沼隈運動公園整備                     </div>
<b>2 家庭における教育力の向上</b> ・公民館において親子のふれあいや保護者同士の交流を図る「子育て支援交流事業」を推進	事業開催数 事業開催箇所数	地区公民館で 69回開催	全地区公民館(73館)で実施	全地区公民館(79館)で実施	
<b>3 地域における教育力の向上</b> ・子どもと地域住民との交流, 子どもが安全・安心している場所として「地域子ども教室(子どもの居場所づくり事業)」を推進	実施箇所数	16箇所(2004年度) 6箇所(2004年度)	25箇所 6箇所	36箇所	
<b>4 次代の親の育成</b> ・保育所等において, 中学生など異世代との交流を実施					
<b>5 児童生徒の健全育成の推進</b> ・性の逸脱行為, 問題行動に対する指導や関係機関との連携を推進					
<b>6 地域全体との協働による子育て支援の推進</b> ・子育て支援ボランティアの養成, ファミリー・サポート・センター事業等を通して, 地域の子育て力の向上を支援					

基本方針 4 援助を必要とする子育て家庭への支援					
基本施策	指 標	現状値(計画初期値)	2005年度実績	目 標 値	ま と め
<b>1 児童虐待防止対策の充実</b> ・2005年4月, 「福山市児童虐待防止ネットワーク」を設置し, 関係機関との連携を強化  ・2005年4月, 出産後間もない時期に育児不安を抱える家庭の支援を行うとともに, 児童虐待の未然防止を図るため「育児支援家庭訪問事業」を開始	虐待していると思ったこと	就学前12.7%(2003年度) 小学生 9.3%(2003年度)	-	減少(2009年度)	児童虐待防止法等の改正に伴い, 「福山市児童虐待防止ネットワーク」を設置し, 児童虐待の未然防止, 早期発見, 早期対応に取り組んだ。 また, 助産師等の家庭訪問により, 育児不安を抱える家庭の支援を行う「育児支援家庭訪問事業」を開始した。 生活基盤が脆弱であることの多いひとり親家庭については, 「ひとり親家庭等自立支援事業」を実施し, 就業・自立を支援した。 学校教育においては, 特別支援教育に向けて相談体制, 支援体制の整備を図った。
<b>2 ひとり親家庭等の自立支援の推進</b> ・教育訓練給付金等「ひとり親家庭等自立支援事業」を実施し, ひとり親家庭の親の自立を支援			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         2006年度新規事業                          * ひとり親家庭就業・自立支援センター事業                          * 母子家庭自立支援プログラム策定事業                          * 特別支援教育体制推進事業                     </div>		
<b>3 障害児施策の充実</b> ・特別支援教育に向けた体制の整備等障害児教育の充実 ・心理相談員, 保健師等による療育相談の実施 ・支援費制度による早期療育, 各種サービスの提供					

基本方針 5 子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備					
基本施策	指 標	現状値(計画初期値)	2005年度実績	目 標 値	ま と め
<b>1 安全で, 安心して子育てができるまちづくりの推進</b> ・「ユニバーサルデザイン」を基本とした事業の推進			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         2006年度新規事業                          * 児童安全啓発事業                          * パトロール用ベスト配布事業                          * 通学路沿い公共施設安全対策事業                          * 緊急通報システム整備事業                          * 学区自治会(町内会)連合会への情報提供事業                          * 児童生徒安全対策確保事業                          * 通学時安全確保対策事業                          * 通学路防犯灯整備事業                     </div>		年齢, 性別等に関わらず, すべての人が快適な暮らしができる社会をめざして「ユニバーサルデザイン」の啓発・推進に取り組んだ。 また, 地域, 警察と連携して防犯体制の整備を進めるとともに, 青少年補導員協議会やPTA等との連携により青少年の非行防止活動を推進した。 さらに, 広島市や栃木県で下校中の児童が殺害される事件の発生を契機に, 「子どもの安全対策」に重点的に取り組むことになった。「子どもの安全対策」については, 2006年度においても引き続き重点的に取り組む。
<b>2 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進</b> ・「子ども110番の家」事業の推進, 「スクールガードリーダー」の導入等子どもを犯罪被害から守る活動を推進  ・「福山市生活安全連絡会議」の設置等「子どもの安全対策」の推進					
<b>3 子どもを取り巻く有害環境対策の推進</b> ・「少年社会環境浄化モニター」による実態調査及び啓発活動を実施					
<b>4 子どもの交通安全を確保するための活動の推進</b> ・保育所, 幼稚園, 小学校児童を対象とした「交通安全教室」の開催					

目標値及び指標を変更したものと  
従来の福山市の目標値を継続するもの

**総 括**

行動計画初年度であった2005年度(平成17年度)は, 行動計画全体を通して概ね着実に事業が進められた。今後の事業展開にあたっては, 本行動計画を着実に推進することを基本としながら, 国・県・他都市の動向や地域のニーズ, 本市の財政状況等総合的に勘案して推進する。

神辺町との合併等に伴い, 2009年度(平成21年度)の目標値等の見直しを行う。

2005年度(平成17年度)後半には, 広島市をはじめ全国で子どもが犠牲となる痛ましい犯罪が続発し, 子どもの安全対策の充実が求められるようになった。本市においても, 児童虐待の防止を始め, 子どもを犯罪等の被害から守る安全対策を市民と協働して, 2006年度(平成18年度)の重点政策として取り組む。

新しい事業や制度の計画・実施については, 効果的かつ効率的に市民へ情報提供を行う中で実施する。

(計画当初)	基本方針 5 基本施策 23 個別事業数 86(重複を除く) うち数値目標設定事業 17
(2006年度)	個別事業数 100(重複を除く) うち統合 1 新規追加事業 15 数値目標設定事業 17

## 福山市行動計画における2009年度(平成21年度)目標数値の変更について

3

コード	個別事業名	指標	現状値(計画初期値)	2005年度実績	目標値(変更前)	目標値(変更後)	変更理由
1-2-9	学校の無煙化	校内全面禁煙校	小中学校61校 (2004年度)	小中学校89校/105校	全校実施(2005年度)	全校実施 (2007年度から)	
2-1-1	保育サービスの充実 保育所入所児童数	保育所入所児童数	10,755人(2004年度) 1,118人(2004年度)	10,907人 1,172人	10,800人(2009年度) 1,208人(2009年度)	12,000人 (2009年度)	神辺町との合併による変更
		延長保育	延長保育実施箇所数				
	1時間延長		103箇所(2004年度) 11箇所(2004年度)	103箇所 11箇所	94箇所(2009年度) 11箇所(2009年度)	105箇所 (2009年度)	
	2時間延長	3箇所(2004年度) 1箇所(2004年度)	3箇所 1箇所	12箇所(2009年度) 1箇所(2009年度)	13箇所 (2009年度)		
一時保育	1日あたりの最大受入 児童数	81人(2004年度) 55人(2004年度)	153人 16人	135人(2009年度) 28人(2009年度)		目標数値の達成、神辺町との合併及び国の目標指数(実施箇所数)に合わせての変更	
	実施箇所数		64箇所 8箇所		75箇所 (2009年度)		
2-1-7	放課後児童クラブ事業	実施箇所数	67箇所(2004年度) 8箇所(2004年度)	67箇所 8箇所	68箇所(2009年度) 8箇所(2009年度)	74箇所 (2009年度)	神辺町との合併による変更
2-2-7	子育て支援交流事業	事業開催数	地区公民館で 69回開催		地区公民館で 73回開催		目標数値の達成及び神辺町との合併による変更
		事業開催箇所数		全地区公民館 (73館)で開催		全地区公民館 (79館)で開催	
3-3-4	地域子ども教室(子どもの居場所づくり事業)	実施箇所数	16箇所(2004年度) 6箇所(2004年度)	25箇所 6箇所	72箇所(2006年度) 6箇所(2006年度)	36箇所 (2006年度)	事業の進捗状況に合わせた変更

下段 は、神辺町分

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	1 - 1 - 1 (1-3-1・2-2-6・2-3-4・3-6-2・4-1-2)	1 - 1 - 2	1 - 1 - 3
担当部課		保健所総務課	保健所健康推進課	保健所健康推進課
具体的な施策 (個別事業名)		子育て支援ボランティア事業	母子健康手帳の交付	妊婦一般健康診査
事業概要		子育て支援ボランティアを養成し、市保健師との連携により、保護者の話し相手になったり、子育ての情報提供を行うもの	安全な妊娠・出産のための情報提供や妊娠・出産・子育てに関する一貫した記録など母子が自らの健康管理に活用するための手帳を交付し、母子保健事業を啓発するもの	医療機関において、問診、診療、血液検査、超音波検査等を行い、妊婦の健康確保を図るもの
数値目標等		子育て支援ボランティアの配置	無 (妊娠届けをした人に交付)	無 (妊娠届けをした人に交付)
	現状値	52小学校区(2004年度)	-	-
	目標値	全ての小学校区(2012年度)	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値	59小学校区/78小学校区	母子健康手帳の交付 4,259冊	妊婦一般健康診査受診件数 7,817件
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校区に1名以上の子育て支援ボランティアを登録(養成)することを目標に、2003年度から子育て支援ボランティアの養成を実施</li> <li>78小学校区(神辺町を含む。)中59学区への登録を行い、声かけ訪問を実施</li> <li>子育て支援ボランティア登録者数162人</li> <li>同行・声かけ訪問件数233件</li> <li>今後は、未登録学区を中心に募集を行い、2006年度においては、全小学校区への登録を行う必要がある。</li> </ul> <p>神辺町分 合併前は事業なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民課、各支所・分室等で交付している。</li> <li>交付数4,259冊(神辺3月分を含む。)</li> <li>(課題)</li> <li>外国語日本語併記母子健康手帳の交付希望がある。</li> </ul> <p>神辺町分(再掲) 母子健康手帳交付:34冊(3月分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦が、かかりつけ医において、妊娠中に妊婦一般健康診査票を用いて、2回受診している。</li> <li>受診件数 7,817件(神辺3月分を含む。)</li> </ul> <p>神辺町分(再掲) 妊婦一般健康診査受診件数:54件(3月分)</p>
2006年度計画		<p>【継続 廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援ボランティア養成講座の実施</li> <li>子育て支援ボランティアフォローアップ講座の開催</li> <li>健康な乳幼児を持つ家庭への声かけ訪問の推進</li> <li>乳幼児健康相談などへの参加</li> </ul>	<p>【継続 廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母子健康手帳交付予定数4,900冊(妊娠届け数により変化するものであり目標数ではない。)</li> <li>外国語日本語併記母子健康手帳を交付する。</li> </ul> <p>神辺町分(再掲) 370冊</p>	<p>【継続 廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦一般健康診査票8,780件(妊婦数により変化するものであり目標数ではない。)</li> </ul> <p>神辺町分(再掲) 680件</p>
(予算額:千円)		141	589	1 - 2 - 6に含む
備考 (特記事項)			上記うち神辺分予算額37千円	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	1 - 1 - 4 (1 - 2 - 5・1 - 3 - 2)	1 - 2 - 1	1 - 2 - 2	
担当部課	保健所健康推進課		保健所健康推進課	保健所健康推進課 他( )	
具体的な施策 (個別事業名)	訪問指導（すこやか育児サポート事業，産後うつ病質問票を使用した訪問）		乳幼児の事故防止	食生活改善推進事業	
事業概要	産婦人科医，小児科医，市保健師が協力し，妊娠中から乳児期の子育て不安に対して，小児科医の保健指導や保健師の家庭訪問を行うもの		不慮の事故による乳幼児の死亡を防ぐための取り組みをするもの	偏食防止，朝食摂取等子どもに望ましい食生活を身につける啓発を推進するもの	
		現状値 2005年度 目標値			
数値目標等	妊婦・出産に満足している人	データなし - 100% (2012年度)	4歳までの不慮の事故死亡率 (人口10万人対)	朝食を欠食する習慣のある児童(1.6歳児)	9.60% - 0% (2012年度)
	妊婦の喫煙率	データなし - 0% (2012年度)		朝食を欠食する習慣のある児童(3歳児)	10.40% - 0% (2012年度)
	ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握	データなし - 100% (2012年度)		15.3 (2001年度)	0 (2012年度)
現状値					
目標値					
05年度実施状況等	実績値	すこやか育児サポート事業 49件 産後うつ病質問票を使用した訪問件数:1,819件	-	未調査	
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】	
実施内容及び課題等	ハイリスク妊婦及びハイリスク児等の訪問を実施して育児不安の軽減などに努めるとともに，育児支援家庭訪問事業と連携してハイリスク家庭を支援している。 (課題) 家庭訪問は，主に出生時に保護者が提出する「赤ちゃん相談票」の情報を基に実施しているが提出率が85%であり，未提出の児は早期に把握できず，支援がしにくい現状である。 家庭訪問を実施するにあたり，電話にて訪問予約をする際，訪問予約ができなく，訪問指導についての市民啓発が充分でない。 神辺町分(再掲) すこやか育児サポート事業：1件(3月分)		乳幼児健康相談及び乳幼児健康診査時などで，事故防止についての啓発を実施している。  (参考) 2004年 3件(14.7)  神辺町分 未把握	子どもを産み，育てるための適正な体重の意義の啓発を行った。 保育所，幼稚園に対する栄養士の「食育」に関する講話を行った。 保育所での未就学児の保護者に対する食生活に関する支援事業の展開と支援を行った。 公民館等で子どもを対象に「食育」を中心とした料理教室を開催した。 (食生活改善推進員による料理教室実施など)	
	2006年度計画	【継続 廃止】 すこやか育児サポート事業 140件  「赤ちゃん相談票」と「訪問指導」の目的・意義を啓発する。  神辺町分(再掲) 5件	【継続 廃止】 4歳までの不慮の事故死亡率0をめざして取組を継続	【継続 廃止】 2005年度事業に加え，小学校に対する栄養士の「食育」に関する講話の機会を増やすとともに，小学校等で子どもを対象に「食育」を中心とした料理教室を開催	
(予算額:千円)	886		0	158	
備考 (特記事項)				( )その他の関係部署 保育課 学校保健課	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	1 - 2 - 3 (1 - 3 - 3)	1 - 2 - 4	1 - 2 - 6
担当部課	保健所健康推進課	保健所健康推進課	保健所健康推進課	保健所健康推進課
具体的な施策 (個別事業名)	離乳食講習会	乳幼児健康相談	乳児一般健康診査，4か月児健康診査，1歳6か月児健康診査，3歳児健康診査	乳児一般健康診査，4か月児健康診査，1歳6か月児健康診査，3歳児健康診査
事業概要	離乳食の必要性，作り方，すすめ方などを指導し，試食の機会を提供するもの。	乳幼児の問診，身体測定，発育・発達の確認，育児相談，歯科相談，栄養相談を行うことで乳幼児の心身の健全な発育・発達を支援するもの	医療機関において乳児の疾病，障害の早期発見，心身の健全な発育・発達などを促すとともに，親の育児不安を解消するため，乳幼児の健康診査を実施するもの	
数値目標等	-	夜10時までに寝る児童	幼児健診の受診率	
現状値	-	1歳6か月児：50.8% (2001年度) 3歳児：49.3% (2001年度)	1歳6か月児：89.0% (2001年度) 3歳児：82.4% (2001年度)	
目標値	-	1歳6か月児：80.0%以上 (2012年度) 3歳児：80.0%以上 (2012年度)	1歳6か月児：95.0%以上 (2012年度) 3歳児：90.0%以上 (2012年度)	
05 年度 実施 状況 等	実績値		2007年度の「健康ふくやま21」中間評価時に把握予定	1歳6か月児：90.5% 3歳児：84.8%
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	離乳食の必要性、進め方、作り方の指導や試食の機会を提供、健全な食習慣の確立をめざすために離乳食の意義・方法について指導した。  実施回数 40回 参加者数 延べ791人 (神辺分は含まず。)  神辺町分(別掲) 4回実施，59人参加(2月まで。3月は実施なし。)	保健師，歯科衛生士，栄養士による健康相談を実施している。 また，図書館司書による「絵本と出会うふれあい事業」を同時に実施している。 (課題) 相談内容が，児に関する内容にとどまらず，多岐にわたるので1人あたりの相談に時間がかかる。 栄養(離乳食)に対する不安が多い。  神辺町分 未把握	乳幼児の健康診査は，個別健康診査(乳児一般健康診査・4か月児健康診査)と集団健康診査(1歳6か月児及び3歳児健康診査)で実施している。  (課題) 更なる受診率の向上  神辺町分(別掲) 1歳6か月児:80.5%(2月まで。3月は83.1%) 3歳児:71.5%(2月まで。3月は実施せず。)
2006年度計画	【継続 廃止】 2005年度と同様に実施する。	【継続 廃止】 2005年度と同様に実施する。	【継続 廃止】	【継続 廃止】 1歳6か月児：50回 (受診率92%) 3歳児：50回 (受診率85%)
(予算額:千円)	285	497	142,477	
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	1 - 2 - 7	1 - 2 - 8 (3 - 4 - 2)																																																			
担当部課	保健所健康推進課		保健所保健予防課 他( )																																																			
具体的な施策 (個別事業名)	予防接種		思春期の保健対策																																																			
事業概要	子どもの疾病予防のため、予防接種の勧奨及び情報提供を行うもの		小中学生への喫煙・飲酒防止教室の実施、性や性感染症に関する正しい知識の普及・啓発を行うもの																																																			
数値目標等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2005年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6か月までにBCG予防接種済みの児童</td> <td>データなし</td> <td>96.9%</td> <td>90%以上 (2012年度)</td> </tr> <tr> <td>1.6歳までに麻疹の予防接種済みの児童</td> <td>70% (2001年度)</td> <td>83.3%</td> <td>90%以上 (2012年度)</td> </tr> </tbody> </table>			現状値	2005年度	目標値	6か月までにBCG予防接種済みの児童	データなし	96.9%	90%以上 (2012年度)	1.6歳までに麻疹の予防接種済みの児童	70% (2001年度)	83.3%	90%以上 (2012年度)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (2001年度)</th> <th>2005年度</th> <th>目標値 (2012年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未成年者の喫煙率(中学2年)</td> <td>1.0%</td> <td>-</td> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">0%</td> </tr> <tr> <td>未成年者の喫煙率(高校2年)</td> <td>11.30%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未成年者の飲酒割合 (最近1か月の飲酒経験)</td> <td rowspan="3">(中学2年)</td> <td>毎日 0%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>3日/週以上 10.0%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>1日/週程度 12.0%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(高校2年)</td> <td>毎日 0%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>3日/週以上 5.9%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>1日/週程度 23.7%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ストレスを感じる人の割合(小6)</td> <td>43.0%</td> <td>-</td> <td>38.0%</td> </tr> <tr> <td>ストレスを感じる人の割合(中2)</td> <td>51.6%</td> <td>-</td> <td>46.0%</td> </tr> <tr> <td>ストレスを感じる人の割合(高2)</td> <td>62.8%</td> <td>-</td> <td>56.0%</td> </tr> </tbody> </table>			現状値 (2001年度)	2005年度	目標値 (2012年度)	未成年者の喫煙率(中学2年)	1.0%	-	0%	未成年者の喫煙率(高校2年)	11.30%	-	未成年者の飲酒割合 (最近1か月の飲酒経験)	(中学2年)	毎日 0%	-	3日/週以上 10.0%	-	1日/週程度 12.0%	-	(高校2年)	毎日 0%	-	3日/週以上 5.9%	-	1日/週程度 23.7%	-	ストレスを感じる人の割合(小6)	43.0%	-	38.0%	ストレスを感じる人の割合(中2)	51.6%	-	46.0%	ストレスを感じる人の割合(高2)	62.8%	-	56.0%
		現状値	2005年度	目標値																																																		
6か月までにBCG予防接種済みの児童	データなし	96.9%	90%以上 (2012年度)																																																			
1.6歳までに麻疹の予防接種済みの児童	70% (2001年度)	83.3%	90%以上 (2012年度)																																																			
	現状値 (2001年度)	2005年度	目標値 (2012年度)																																																			
未成年者の喫煙率(中学2年)	1.0%	-	0%																																																			
未成年者の喫煙率(高校2年)	11.30%	-																																																				
未成年者の飲酒割合 (最近1か月の飲酒経験)	(中学2年)	毎日 0%		-																																																		
		3日/週以上 10.0%		-																																																		
		1日/週程度 12.0%		-																																																		
(高校2年)	毎日 0%	-																																																				
	3日/週以上 5.9%	-																																																				
	1日/週程度 23.7%	-																																																				
ストレスを感じる人の割合(小6)	43.0%	-		38.0%																																																		
ストレスを感じる人の割合(中2)	51.6%	-		46.0%																																																		
ストレスを感じる人の割合(高2)	62.8%	-	56.0%																																																			
実績値	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2005年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6か月までにBCG予防接種済みの児童</td> <td>データなし</td> <td>96.9%</td> <td>90%以上 (2012年度)</td> </tr> <tr> <td>1.6歳までに麻疹の予防接種済みの児童</td> <td>70% (2001年度)</td> <td>83.3%</td> <td>90%以上 (2012年度)</td> </tr> </tbody> </table>			現状値	2005年度	目標値	6か月までにBCG予防接種済みの児童	データなし	96.9%	90%以上 (2012年度)	1.6歳までに麻疹の予防接種済みの児童	70% (2001年度)	83.3%	90%以上 (2012年度)																																								
	現状値	2005年度	目標値																																																			
6か月までにBCG予防接種済みの児童	データなし	96.9%	90%以上 (2012年度)																																																			
1.6歳までに麻疹の予防接種済みの児童	70% (2001年度)	83.3%	90%以上 (2012年度)																																																			
05年度実施状況等	区分	【継続 新規】		【継続 新規】																																																		
	実施内容及び課題等	<p>乳幼児健康相談、幼児健康診査の場などにおいて予防接種の勧奨を行った。                      家庭、保育所、幼稚園、小中学校に予防接種の種類、接種時期等の情報を提供した。                      保育所、幼稚園、学校において子どもに予防接種の勧奨を行った。                      【課題】                      早めに予防接種を受けるようあらゆる機会にPRしているが、抵抗力の少ない乳幼児は体調も崩しやすく接種時期が遅れることもある。</p> <p>神辺町分 未把握</p>		<p>小中学校での喫煙・飲酒防止教育講座(小学校9校・中学校4校、その内小学校2校と中学校1校は飲酒・薬物教育を実施した。)                      小中学校における「性と生」の講演会として、小学校1校・中学校2校で実施した。                      小中学生の喫煙・飲酒に対する防止として、地域における補導活動や、青少年センターによる常時・合同・特別補導活動を実施した。</p> <p>神辺町分 未実施</p>																																																		
2006年度計画	【継続 廃止】 2005年度と同様あらゆる機会において、予防接種の勧奨および情報提供をしていく。		【継続 廃止】 喫煙・飲酒防止教育講座を実施。 小中学校における「性と生」の講演会の実施。 子どもを産み育てるために適性な体重の意義の啓発をする。 小中学生の喫煙・飲酒に対する防止として、地域における補導活動や、青少年センターによる常時・合同・特別補導活動を実施する。																																																			
(予算額:千円)	126,446		1,050																																																			
備考 (特記事項)	神辺町においては幼児健診時の予防接種率を算出していないため実績値は不明		( )その他の関係部署 青少年課 (保健)総務課 健康推進課 学校保健課																																																			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	1 - 2 - 9	1 - 4 - 1	2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3)
担当部課		学校教育部指導課	保健所総務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		学校の無煙化の推進	小児医療の充実	保育サービスの充実 (保育所入所児童数)
事業概要		学校において喫煙防止教育を実施するとともに、校内全面禁煙を推進するもの	在宅当番医，小児二次救急輪番病院，福山市医師会による福山夜間小児診療所の休日，夜間診療の充実	保育を必要とする児童の全員入所，児童一人ひとりの人権を大切に育てる保育の充実，保護者の就労形態や生活実態の変化に対応できる保育サービスの充実を推進するもの
数値目標等		学校の無煙化	-	入所児童数 ( )内は神辺町計画で別掲
	現状値	小中学校61校(2004年度)	-	(2004年度) 10,755人(1,118人)
	目標値	全校実施(2007年度から)	-	(2009年度) 12,000人
05 年度 実施 状況 等	実績値	小中学校89校/105校		12,079人
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容及び課題等	校内全面禁煙を推進した。 「敷地内禁煙」プレートを全校に整備した。  神辺町分 校内分煙を実施	・休日における昼間の一次診療を市内7医療機関の当番医により実施 ・毎夜間における二次診療を市内9医療機関(小児は4医療機関)で輪番により実施 ・福山市医師会が毎夜間，医師会館において小児診療を実施	(実施内容) ・途中入所による弾力的な入所児童の受け入れ ・入所定員の拡大  (課題) ・保育所の施設の老朽化 ・低年齢での保育ニーズの増と要保育率の上昇  神辺町分(再掲)  1,172人
2006年度計画	【継続 廃止 新規】 校内全面禁煙(4月から福山市分105校)の実施 喫煙防止教育の充実 地域や関係団体との連携を図り，継続した啓発活動の実施  神辺町分(再掲) 神辺町内の学校(9校)においては，今年度は実施への移行期間	【継続 廃止】 2005年度と同様に実施	【継続 廃止】  12,140人  神辺町分(再掲)  1,200人	
(予算額:千円)	0	78,148	12,105,500	
備考 (特記事項)	目標値変更あり		児童数は，各年度3月1日現在  2006計画 公立(福山)5,865人 公立(神辺) 455人 私立(福山)5,075人 私立(神辺) 745人  目標値変更あり	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3)	2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3)	2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (延長保育1時間延長)	保育サービスの充実 (延長保育2時間延長)	保育サービスの充実 (延長保育3時間延長)
事業概要		保護者の就労形態の多様化等に 伴い保育所の開所時間を超過して 保育を行うもの	保護者の就労形態の多様化等に 伴い保育所の開所時間を超過して 保育を行うもの	保護者の就労形態の多様化等に 伴い保育所の開所時間を超過して 保育を行うもの
数値目標等		実施箇所数 ( )内は神辺町計画で別掲	実施箇所数 ( )内は神辺町計画で別掲	実施箇所数 ( )内は神辺町計画で別掲
	現状値	(2004年度) 103箇所(11箇所)	(2004年度) 3箇所(1箇所)	(2004年度) 1箇所(0箇所)
	目標値	(2009年度) 105箇所	(2009年度) 13箇所	(2009年度) 4箇所
05 年度 実施 状況 等	実績値	114箇所	4箇所	1箇所
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	〔実施内容〕 ・公立保育所(75所)及び私立保育 所(39所)で実施  2005年度 公立75所(福山69所+神辺6所) 私立39所(福山34所+神辺5所)  神辺町分(再掲)  11箇所	〔実施内容〕 ・私立保育所(4所)で実施  2005年度 私立4所(福山3所+神辺1所)  神辺町分(再掲)  1箇所	〔実施内容〕 ・私立保育所(1所)で実施  2005年度 私立1所(福山1所+神辺0所)
2006年度計画	【継続 廃止】	【継続 廃止】	【継続 廃止】	
		114箇所	4箇所	1箇所
		神辺町分(再掲)  11箇所	神辺町分(再掲)  1箇所	
(予算額:千円)		240,701	28,123	11,616
備考 (特記事項)		2006年度 公立73所(福山67所+神辺6所) 私立41所(福山36所+神辺5所) 法 人移管分2所 予算額は私立分のみ  目標値変更あり	2006年度 公立 - 私立 4(3+1) 予算額は私立分のみ  目標値変更あり	2006年度 公立 - 私立 1 予算額は私立分のみ  従来目標値を継続

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3)	2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3)	2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (休日保育)	保育サービスの充実 (夜間保育)	保育サービスの充実 (病児・病後児保育)
事業概要		保護者の就労形態の多様化に対応するため、日曜・祝日の保育を行うもの	夜間、保護者の就労等による保育ニーズへの対応を図るもの	病気の状態（回復期を含む）にある児童で、集団保育等が困難な場合に医療機関に付設された専用スペースで一時的に預かるもの
数値目標等		実施箇所数 ( )内は神辺町計画で別掲	実施箇所数 ( )内は神辺町計画で別掲	実施箇所数 ( )内は神辺町計画で別掲
	現状値	(2004年度) 3箇所(3箇所)	(2004年度) 2箇所(0箇所)	(2004年度) 2箇所(0箇所)
	目標値	(2009年度) 5箇所	(2009年度) 2箇所	(2009年度) 5箇所
05 年度 実施 状況 等	実績値	6箇所	2箇所	2箇所
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	〔実施内容〕 公立(1所)、私立(5所)で実施しており、利用者数も増加している。  利用者数 2004年度 1,883人 2005年度 1,846人	〔実施内容〕 私立保育所2施設で実施 (開所時間午前10時～翌日午前2時)	〔実施内容〕 2005年度 医療機関 2施設  2005年度は、延べ利用児童数も増加しており、新規の開設に向け取り組み、その結果2006年度当初から3施設での事業実施となった。  神辺町分 実施なし
2006年度計画		【継続 廃止】  6箇所	【継続 廃止】  2箇所	【継続 廃止】  3箇所
(予算額:千円)		-	-	20,606
備考 (特記事項)		2006年度 公立 1 私立 5  従来の目標値を継続	2006年度 公立 - 私立 2  従来の目標値を継続	2006年度 医療機関 3施設  従来の目標値を継続

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	2 - 1 - 1 (2 - 4 - 3)	2 - 1 - 2 (3 - 1 - 6)	2 - 1 - 3
担当部課		児童部庶務課	児童部保育課 学校教育部指導課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (一時保育)	保育所・幼稚園の連携，就学前 教育・保育と小学校の連携	就学前施設の再整備
事業概要		保育所に入所していない就学前 児童を，保護者の傷病・入院， 災害・事故，育児等に伴う心理 的・肉体的負担の解消を図るた め，緊急・一時的に預かるもの	保育所・幼稚園それぞれの特性を 活かした多様な保育・教育の提供 及び幼児期の教育と小学校以降 の教育との円滑な移行を図るた め，保育所・幼稚園・小学校間の連 携を図るもの	今後の児童数の推移，地域の実 態，保護者のニーズ，施設の老 朽化などに応じた保育所の再整 備を行うもの
数値目標等		1日当たり最大受入児童数 ( )内は神辺町計画で別掲	-	-
	現状値	(2004年度) 81人(55人)	-	-
	目標値	(2009年度) 75箇所	-	-
05 年度 実 施 状 況 等	実績値	169人		8施設
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	〔実施内容〕 2005年度 実施施設数 72所 公立60所(福山58所+神辺2所) 私立12所(福山 6所+神辺6所) 1日当たり最大受入児童数 169人 公立 103人 (福山98人+神辺 5人) 私立 66人 (福山55人+神辺11人)  実施施設数，利用児童数ともに増 加しており，保育所未入所児童の 保護者の子育てを支援した。	各保育所・幼稚園・小学校におい て，入学前後や課題を持つ子ども などに関して，必要に応じて連携を 図っている。  神辺町分 保・幼・小連絡会の開催 小学校区ごとに年1～2回開催	公立保育所 ・大規模改修 2所 (引野，高西) ・増改築 1所 (西山手) 私立保育所 ・増築 2所 (つくし，みどり) ・増改築 1所 (千田西) ・改築 2所 (千田，駅家東)  神辺町分(再掲) ・増築 1所 (みどり)
2006年度計画		【継続 廃止】 公立 58所 私立 16所 計 74所  神辺町分(再掲) 8所	【継続 廃止】 継続して実施	【継続 廃止 新規】 2005年度からの繰越事業 公立保育所 3所 (引野，高西，西山手) 私立保育所 3所 (千田西，千田，駅家東)
(予算額:千円)		20,736	0	698,935
備考 (特記事項)		予算額は私立分のみ  目標値変更あり		予算額は2005年度からの繰越額

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	2 - 1 - 4 (2 - 4 - 4・3 - 5 - 1・4 - 3 - 2)	2 - 1 - 5 (2 - 4 - 6)	2 - 1 - 6
担当部課	社会教育部社会教育振興課	社会教育部社会教育振興課	学校教育部指導課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)	放課後児童クラブ事業	幼稚園での預かり保育	短期入所生活援助事業 (ショートステイ・トワイライト)	
事業概要	保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に施設を利用して、適切な遊びや生活の場を提供する。	私立幼稚園において日常の保育終了後や長期休暇の期間において預かり保育を行うもの	保護者の疾病や疲労、仕事などにより、家庭で保育を行うことができない場合に、児童養護施設や乳児院においてショートステイを、保護者の仕事などにより平日の夜間などに不在となり、家庭において児童を養護することが困難となった場合にトワイライトを実施するもの	
数値目標等	放課後児童クラブ開設か所数 ( )内は神辺町計画で別掲	-	-	-
	現状値	(2004年度) 67(8)	-	-
	目標値	(2009年度) 74	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値	75		ショートステイ 2ヶ所 トワイライト 2ヶ所
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	開設 75か所 公設公営 72か所 (うち神辺8か所) 民設民営 3か所 (沼隈町3法人立保育所へ委託)  長期休業中(月～金) ・福山市 8:30～17:00  ・神辺町 小学校内 8:30～12:00 児童館 13:00～18:00  神辺町分(再掲)  8か所 小学校内 6か所 児童館 2か所	私立幼稚園で実施 (神辺町においては公立幼稚園でも実施)      神辺町分(再掲)  全ての幼稚園で実施	実施箇所 ・ショートステイ 福山乳児院(0,1歳) こぶしヶ丘(2歳以上) ・トワイライト 福山乳児院(0,1歳) こぶしヶ丘(2歳以上) 利用状況 ・ショートステイ 4人 26日 乳児院 3人 20日 こぶし 1人 6日 ・トワイライト 利用なし  神辺町分(再掲)  ショートステイ...未実施 トワイライト ...計画なし
	2006年度計画	【継続 廃止】 開設 74か所 公設公営 71か所 (うち神辺6か所) 民設民営 3か所 (沼隈町3法人立保育所へ委託)  神辺町分(再掲) 6か所(小学校内の6か所とし、 長期休業中の時間延長)	【継続 廃止 新規】 私立幼稚園で実施   神辺町分(再掲) 公立幼稚園は、経過措置として 今年度のみ実施	【継続 廃止】 2005年度と同様に実施
(予算額:千円)	393,453			183
備考 (特記事項)	2006年度新設 山南放課後児童クラブ (公設公営:小学校内余裕教室)  目標値変更あり			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	2 - 1 - 7 (2 - 4 - 5)	2 - 1 - 8	2 - 2 - 1 (2 - 3 - 2)
担当部課		児童部子育て支援課	児童部保育課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		ファミリーサポートセンター事業	家庭保育福祉員	ふくやま子育て応援センター
事業概要		保育所などへの児童の送迎及び 預かり保育など、子育てを応援し てほしい人と子育てを応援した い人が会員となって子育てを地 域で支えるもの	一定の資格を持つ人で、自宅の 一室を保育室として開放し、乳 幼児の保育を行うもの	育児相談、保護者によるサークル 活動の支援、子育て支援事業に関 する情報提供等地域の子育てを 総合的に支援するもの
数値目標等		ファミリーサポートセンター協会会員数	-	-
	現状値	114人(2004年度)	-	-
	目標値	160人(2009年度)	-	-
05 年度 実 施 状 況 等	実績値	153人(06.3月末)		
	区 分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	○援助の希望にできるだけ応じ、 相互援助活動がスムーズにいくよ う努めてきた。 ○活動延べ件数(1,736)は去年比 ほぼ同数 〔課題〕 ○依頼会員の増加に比べて、協 力・両方会員の増加は少ない。  2006年3月末会員数 依頼会員 441人(354人) 協力会員 153人(120人) 両方会員 66人(62人) ( )内は2005年3月末  神辺町分(別掲)  2006年2月末会員数 依頼会員16人、協力会員20人 両方会員1人 活動件数72件	福祉員数 4名 受託児童数 9名	○去年比、相談件数(2,105件)は約 15%増、しかし、情報提供数(1,561 件)は約20%減となっている。 〔( )内は、2006年3月末件数〕 ホームページの充実が要因と考 えられる。 〔課題〕 ○参加者が増加しているサークル がある中、参加者の少ないサークル もある。
2006年度計画		【継続 廃止】 ○地域バランスを勘案した協力 会員の確保 ○時代に即した協力会員の研修 を実施し、参加を呼びかける ○研修場所の検討	【継続 廃止】 福祉員数 3名 受託児童数 8名	【継続 廃止】 ○サークルの見直しと充実 ○子育て支援事業に関するタイム リーな情報提供と利用促進 ○他の各種子育て支援事業との連 携
(予算額:千円)		7,382	1,602	-
備 考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	2 - 2 - 2 (2 - 3 - 2)	2 - 2 - 3 (3 - 2 - 1)	2 - 2 - 4 (4 - 1 - 3)
担当部課		児童部保育課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		地域子育て支援センター事業	家庭児童相談室	育児支援家庭訪問事業
事業概要		保育所を拠点として子育て一般 家庭への子育て支援事業を行う もの	家庭における適正な児童養育,そ の他家庭児童福祉の向上を図る ため家庭児童相談室を設置し,相 談員が家庭における児童養育に 関する相談に応じ,必要な助言 指導を行うもの	出産後間もない家庭を訪問し, 育児不安を抱える保護者の相談 や指導を行うことにより,家庭 で安定した児童の養育ができる よう支援を行うとともに児童虐 待の未然防止を図るもの
数値目標等		-	子育てに関する不安や負担感	-
	現状値	-	就学前児童60.8% 小学生児童56.1%	-
	目標値	-	減少(2009年度)	-
05 年度 実施 状況 等	実績値			1,044件
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	子育て応援センター,地域の拠 点保育所を中心として,それぞ れの地域の保育所が連携し,家 庭で子どもを保育している保 護者や児童を対象に遊びの場・相 談の場として実施。	・相談員4名配置(ひとり親家庭 自立支援員と兼務) ・相談件数 248件  神辺町分(再掲) 町であるため家庭児童相談室設置 なし	保健センター内に事務所を設け,4 月事業開始。 訪問指導員3名 育児家庭訪問員12名配置  年間訪問件数 1,044件 ( 初回訪問 1,011件 継続訪問 33件 ) *市保健師との連携件数166件
2006年度計画		【継続 廃止】 継続して実施。 内容の充実に努める。	【継続 廃止】 継続実施	【継続 廃止】 育児支援家庭訪問指導員 3名 育児家庭訪問員 12名 訪問予定件数 1,600件
(予算額:千円)		42,116	10,908	12,009
備考 (特記事項)			母子相談事業(4-2-3)と合算	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	2 - 2 - 5	2 - 2 - 7 (3 - 2 - 2・3 - 6 - 1)	2 - 2 - 7
担当部課		人権推進部青少年課	社会教育部中部ブロック社会教育センター	社会教育部中部ブロック社会教育センター
具体的な施策 (個別事業名)		ぐりとぐら広場 (福山市自然研修センターふくや まふれ愛ランド)	子育て支援交流事業の充実	家庭教育支援総合推進事業
事業概要		自然研修センターにおいて、親子でのふれあい遊び、育児相談など子育て支援事業を行うもの	公民館において、親子のふれあいの場や保護者同士の交流を図ることで、子育ての悩み相談をするなど、地域で互いに子育てをしていくきっかけづくりをするもの	家庭教育支援の充実を図るため、保護者が参加するさまざまな機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供を推進する
数値目標等		-	子育て支援交流事業開催数	-
	現状値	-	地区公民館で69回	-
	目標値	-	全地区公民館(79館)で実施	-
05 年度 実施 状況 等	実績値	-	全地区公民館(73館)で実施	就学前 117回実施 思春期 21回実施
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	遊具を使った自由遊びやリズム遊び・子育て相談等を実施する中で、様々な利用者ニーズに応じた子育て支援事業を実施した。  実施回数 116回 参加者数 3,411人	・福山市内の全公民館(73館)において、年間一回以上は、この事業を行っている。 ・地域のボランティア、保育所、幼稚園などと連携を図りながら、実施することで、多くの保護者が参加し、子育ての悩みの相談や子育て中の保護者同士の交流の場を提供できた。 ・この事業をきっかけとし、継続的な子育てサークルができた地域もある。 (課題) ・ほとんどの公民館で、年一回の開催のみにとどまっている。	(様々な機会を活用した子育て講座) ・子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直してもらうため、就学前児童の保護者が集まる場所として、市内の全ての幼稚園、保育所の保護者会(懇談会)の機会を利用して講演会等を実施した。 (思春期の子どもを持つ親のための子育て講座) ・深刻化する最近の青少年問題に対応するため、思春期の問題行動について、悩みや不安を持つ親に対して、その対処方法などの子育て講座を実施した。 (課題) ・学習機会の拡大と学習内容の充実を図る必要がある。  神辺町分(再掲)  家庭教育手帳の配布 家庭教育学級の推進
2006年度計画	【継続 廃止】 遊具を使った自由遊びやリズム遊び・子育て相談等を実施する中で、様々な利用者ニーズに応じた子育て支援事業を実施する。	【継続 廃止】 79公民館で実施予定	【継続 廃止】	【継続 廃止】 就学前 117回予定 思春期 21回予定  神辺町分(再掲) 内、神南辺町分 就学前 14回 思春期 5回
(予算額:千円)	0	632		2,112
備考 (特記事項)			目標値変更あり	(文部科学省委託事業)

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	2 - 2 - 8	2 - 3 - 1	2 - 4 - 1
担当部課		学校教育部指導課	児童部子育て支援課	経済部労政課
具体的な施策 (個別事業名)		幼稚園での子育て支援事業	子育て支援サービスの ネットワークづくり	女性雇用対策事業等
事業概要		育児相談による子育て不安の解消、保育所等関係機関との連携による子育て支援事業に関する情報提供を行うもの	子育て支援サービスのネットワークを構築し、様々な子育て支援事業についてタイムリーな情報提供を行うとともに、次世代育成支援対策推進行動計画の実施状況の把握、課題の抽出、今後のあり方等の検討及びその他子育て支援関係事業の調査研究を行うもの	国、県、関係団体と連携し、労働者及び事業主に対し、仕事と家庭の両立についての広報、啓発、研修、情報提供等を行うもの。
数値目標等		-	-	-
	現状値	-	-	-
	目標値	-	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値			
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	育児相談による子育て不安の解消を図った。 公立幼稚園において、各園未就園児の会を計画し、幼児同士のふれあいや子育て相談を実施した。	・2006年1月13日ネットワーク設置 福山市行政及び社会福祉協議会で構成 ・あんしん子育て応援ガイドの発行 ・インターネットホームページによる 子育て支援情報の提供(子育てe- 支援情報！) ・次世代育成支援対策推進行動計画の実施状況の把握、課題の抽出、今後のあり方等の検討  神辺町分(再掲)  設置なし	広島労働局、県、21世紀職業財団との共催による仕事と家庭の両立に関するセミナーの開催。 福山地方雇用対策協議会、福山人権啓発企業連絡会と連携し、事業者への啓発・情報提供 勤労女性センターにおける仕事と家庭の両立に関する講座の開催 若年求職者を対象とした就職支援セミナーの開催
	2006年度計画	【継続 廃止 新規】 継続して実施	【継続 廃止】 ・あんしん子育て応援ガイドの発行 ・インターネットホームページの子 育て支援情報(子育てe-支援情 報！)の充実及びキーワードによる 検索方法の効率化を図る。 ・次世代育成支援対策推進行動計 画の実施状況の把握、課題の抽 出、今後のあり方等の検討	【継続 廃止】 広島労働局、県、21世紀職業財団との共催による仕事と家庭の両立に関するセミナーの開催 福山地方雇用対策協議会、福山人権啓発企業連絡会と連携し、事業者への啓発・情報提供 勤労女性センターにおける仕事と家庭の両立に関する講座の開催 若年求職者を対象とした就職支援セミナー等の開催及び「ひろしま若者しごと館ふくやまサテライト」の県との共同実施
	(予算額:千円)	0	1,200	1,250
	備考 (特記事項)		上記事業費は予算上、育児支援 家庭訪問事業で計上	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	2 - 4 - 2	2 - 5 - 1	2 - 5 - 2
担当部課		人権推進部男女共同参画センター	保健所健康推進課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		学習・啓発事業	不妊治療扶助	乳幼児等医療費
事業概要		「男女共同参画推進条例」及び「男女共同参画基本計画」の推進により家庭生活とその他の活動が両立できるまちづくりに取り組むもの。 子育てと仕事の両立支援に関しては、男女共同参画センターで実施する講座において啓発する。	不妊治療に係る費用の一部を助成するもの	乳幼児等が病院へ通院又は入院した際の保険医療費に係る自己負担分の一部を助成する。
数値目標等		-	-	-
現状値		-	-	-
目標値		-	-	-
実績値			不妊治療費決定者：95人	
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
05年度実施状況等	実施内容及び課題等	・再就職，就業援助セミナー（5月～6月 3回） ・年金と働き方（6月 2回） ・親子でできるふれあい体操（8月～9月 2回） ・子育て支援セミナー(子育て講演会)（12月 2回） ・男性セミナー(料理)（7月・3月 2回）	指定医療機関で，体外受精または顕微授精に要した費用に対して1年あたり10万円を限度として通算2年助成している。  神辺町分(再掲)  0人(広島県制度)	対象年齢の拡大 2005年4月1日から対象年齢を小学校3年生までを6年生までに引き上げ 助成内容 入院...0歳児から小学校6年生まで 通院...0歳児から就学前まで *所得制限及び一部負担金あり 受給者数 27,668人 (2006年3月末現在)  神辺町分(再掲)  合併前は，入院・通院ともに就学前まで
2006年度計画		【継続 廃止】 ・再就職，就業援助セミナー ・子育て支援セミナー (育児ボランティア養成講座)	【継続 廃止】 不妊治療：150人	【継続 廃止】 所得制限限度額の引き上げ (児童手当の制度改正に準拠)
(予算額:千円)		106	15,000	734,892
備考 (特記事項)			*2006年度から，通算5年助成する。	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	2 - 5 - 3	2 - 5 - 4	2 - 5 - 5
担当部課		保健所保健予防課	保健所保健予防課	保健所保健予防課
具体的な施策 (個別事業名)		小児慢性特定疾患医療費	未熟児養育医療費	自立支援医療(育成医療)費
事業概要		小児慢性特定疾患の治療を受ける場合、所得に応じて医療費の自己負担分の一部を助成するもの	出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための保険医療費に係る自己負担分を助成するもの	身体上の障害を有する児童等に対し、障害を軽減、改善するために要する保険医療費の自己負担分を助成するもの
数値目標等		-	-	-
現状値		-	-	-
目標値		-	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値	4,731件	288件	362件
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	<p>対象疾患 悪性新生物、慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常血友病等血液・免疫疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患</p> <p>対象者 18歳未満の児童(ただし、満18歳の時点で継続治療の必要な人は20歳未満まで)</p> <p>神辺町分(再掲)</p> <p>0件</p>	<p>出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための治療をする場合、所得に応じて保険医療費に係る自己負担分の一部を助成するもの</p> <p>神辺町分(再掲)</p> <p>0件</p>	<p>身体上の障害を有する児童等に対し、障害を軽減、改善するための治療をする場合、所得に応じて保険医療費の自己負担分の一部を助成するもの</p> <p>神辺町分(再掲)</p> <p>0件</p>
	2006年度計画	【継続 廃止】 4,700件	【継続 廃止】 270件	【継続 廃止】 350件  *2006年4月から児童福祉法から障害者自立支援法に移行。自己負担原則1割。ただし、所得状況や病状に応じて異なる。
	(予算額:千円)	117,600	25,110	7,980
	備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	2 - 5 - 6	2 - 5 - 7	2 - 5 - 8
	担当部課	児童部子育て支援課	福祉部障害福祉課	保健所健康推進課
	具体的な施策 (個別事業名)	ひとり親家庭等医療費	重度心身障害者医療費	幼児インフルエンザ予防接種費
	事業概要	ひとり親家庭等の親又は児童が病院へ通院又は入院した際の保険医療費に係る自己負担分を助成するもの	重度の障害のある障害児(者)が病院へ通院又は入院した際の保険医療費に係る自己負担分を助成するもの	幼児インフルエンザ予防接種に係る費用の一部を助成するもの
	数値目標等	-	-	-
	現状値	-	-	-
	目標値	-	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値			12,160件
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容及び課題等	<p>対象年齢 18歳到達後初めての3月末までの児童を現に扶養している配偶者のない人とその児童 所得制限 本人及び生計を同一にする扶養義務者が所得税非課税であること 受給者数 6,990人 (2006年3月末現在)</p> <p>神辺町分(再掲) 福山市と同様に実施</p>	<p>医療費助成の実施 受給者数 8,806人 65歳未満 3,814人 65歳以上 4,992人</p> <p>神辺町分(再掲) 福山市と同様に実施</p>	<p>インフルエンザ予防接種実施医療機関で接種が終了した幼児(1歳から就学前までの幼児)の保護者に、予防接種に要した費用に対して同一年度、一人あたり3,000円を限度として補助する。</p> <p>神辺町分(再掲) 制度なし</p>
2006年度計画	【継続 廃止】 2006年8月から一部負担金を導入 一部負担限度日数 (入院・通院とも月4日まで)	【継続 廃止】 医療費助成の実施 受給者数 9,740人 65歳未満 4,241人 65歳以上 5,499人 一部負担限度日数(8月から) (入院・通院とも月4日まで)	【継続 廃止】 被接種者:19,000件	
(予算額:千円)	227,565	1,192,894	57,000	
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	2 - 5 - 9	2 - 5 - 10	2 - 5 - 11
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	福祉部障害福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		児童手当	児童扶養手当	特別児童扶養手当
事業概要		小学校第3学年修了までの児童を養育している保護者に対し、手当を支給するもの	父のいない児童を養育している母又は養育者に対し手当を支給するもの	20歳未満の心身障害児を監護する父母などに手当を支給するもの
数値目標等		-	-	-
現状値		-	-	-
目標値		-	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値			
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
実施内容 及び課題等	受給者数 25,477人 児童数 39,075人 (2006年3月末) 支給額(月額) 第1子 5,000円 第2子 5,000円 第3子以降 10,000円	受給者数 3,666人 (2006年2月末現在) 支給額 全部支給 月41,880円 一部支給 月41,870円～9,880円  神辺町分(再掲)  広島県が支給	支給申請の受付 受給者数(2005年12月31日現在) 652人 支給単位(広島県支給) 1級 月 50,900円 2級 月 33,900円  支給に関しては、広島県が実施  神辺町分(再掲)  実施していない	
2006年度計画	【継続 廃止】 2006年4月から対象児童を小学校修了までに拡大、合わせて、所得制限を緩和。	【継続 廃止】 2006年4月から手当月額0.3%引き下げ。 全部支給 41,720円 一部支給 41,710円～9,850円	【継続 廃止】 支給申請の受付	
(予算額:千円)	3,158,300	1,904,697	0	
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	2 - 5 - 1 2	2 - 5 - 1 3	2 - 5 - 1 4
担当部課		福祉部障害福祉課	児童部子育て支援課	福祉部障害福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		障害児福祉手当	遺児年金	重症心身障害者福祉年金
事業概要		20歳未満の身体障害者手帳，療育手帳等を所持する重度の障害児に対し手当を支給するもの	父母のいない児童，父又は母のいない児童その他これに準じる状態にある児童に対し，年金を支給する。	身体障害者手帳，療育手帳，精神障害者保健福祉手帳を所持する者に対し年金を支給するもの (支給対象) 福山市に2年以上居住し，次のいずれかに該当する人 身体障害者手帳1～3級 療育手帳 ㊶～㊷ 保健福祉手帳1，2級 障害基礎年金1，2級の受給者
数値目標等		-	-	-
現状値		-	-	-
目標値		-	-	-
実績値	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容及び課題等	手当の支給 受給者数(2006年3月31日現在) 266人 支給単位 月14,430円  神辺町分(再掲)  支給申請の受付	受給者数 3,788人 (2005年12月期支払) 父母のいない児童 30人 父又は母のいない児童 3,758人 支給額 父母のいない児童 年 41,000円 父又は母のいない児童 年 22,000円  神辺町分(再掲)  制度なし	福祉年金の支給 (障害児) 1人あたり年間 22,000円 年間実績 670人  神辺町分(再掲)  制度なし
2006年度計画		【継続 廃止】 手当の支給 対象者数 270人 支給額 月14,430円	【継続 廃止】 遺児年金の支給	【継続 廃止】 福祉年金の支給
(予算額:千円)		46,754	131,690	158,607
備考 (特記事項)				単市制度

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	2 - 5 - 15	2 - 5 - 16	2 - 5 - 17
担当部課		児童部庶務課	学校教育部学事課	学校教育部学事課
具体的な施策 (個別事業名)		保育所保育料の3人目以降の 無料化	就園奨励費(幼稚園)	就学援護費
事業概要		同時に3人以上保育所へ入所し ている家庭の3人目以降の児童 の保育料を無料にするもの	私立幼稚園に通園する児童の保 護者の経済的負担を軽減するた め、入園料・保育料の一部を補 助	経済的理由で就学に必要な費用 の支払が困難な人への援助
数値目標等		-	-	-
現状値		-	-	-
目標値		-	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値	2,089人		
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
実施内容 及び課題等	(対象) 年間延べ人数 2,089人	認定者 3,194人	認定者 5,054人	
	神辺町分(再掲) 年間延べ人数 247人	認定者 207人	認定者 370人	
2006年度計画	【継続 廃止】	【継続 廃止】	【継続 廃止】	
	福山 158人×12月=1,896人 神辺 13人×12月= 156人 合計 171人×12月=2,052人	認定者見込み 3,111人	認定者見込み 5,008人	
	神辺町分(再掲) 神辺 13人×12月= 156人	認定者見込み 185人	認定者見込み 337人	
(予算額:千円)	-	236,387	285,390	
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	2 - 5 - 1 8	3 - 1 - 1	3 - 1 - 2
担当部課		児童部子育て支援課	学校教育部指導課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		母子寡婦福祉資金貸付金	確かな学力の向上	英語教育の推進
事業概要		母子家庭の児童などが修学するために必要な学費などについて貸付を行うことにより、母子家庭の福祉の向上を図るもの	子ども一人ひとりに応じた指導の充実、基礎基本の習得、個性を伸ばし、選択能力を向上させる取組の実施	英語に親しみ、生きた英語を使うことができる力を伸ばす取組の実施
数値目標等		-	-	-
	現状値	-	-	-
	目標値	-	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値	貸付実績 174件		
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	(貸付状況) 母子 新規 78件 継続 92件 寡婦 新規 2件 継続 2件 計 174件  神辺町分(別掲)  貸付件数13件 7,947千円 (広島県)	授業計画の充実を図った。 一人ひとりに応じたきめ細かな指導、評価規準や評価方法の工夫・改善を図った。  神辺町分(再掲)	英語指導助手(ALT)の増員(5名 7名)を図った。 英語教育の指導力向上のための研修を実施した。  神辺町分(再掲)  小学校英語活動地域サポート事業 英語指導助手の配置 (中学校ALT1名, 小学校AET4名)
2006年度計画		【継続 廃止】 継続して実施	【継続 廃止 新規】 継続して実施	【継続 廃止 新規】 2008年度まで、計画的に英語指導助手の増員を図る。 2006年度は11名  神辺町分(再掲) 小学校英語活動地域サポート事業 小学校英語指導助手の配置(4名)
(予算額:千円)		116,350	0	81,291
備考 (特記事項)		内、貸付金115,400千円		神辺町においては、小学校英語活動地域サポート事業(国補助事業)を実施しており、2008年度まで非常勤講師を4名配置する。

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	3 - 1 - 3	3 - 1 - 4 (3 - 4 - 1・3 - 5 - 3)	3 - 1 - 5
担当部課		学校教育部指導課	学校教育部指導課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		読書教育の推進	豊かな心の育成	不登校児童生徒への取組
事業概要		各校における蔵書を質的量的に整備し、読書教育の充実を図るもの	豊かな体験活動を基に、子どもの道徳性や自己指導能力を育成し、生涯にわたり、たくましく生きていくための健康・体力づくりを推進するもの	児童生徒一人ひとりが安心して生活できるよう、学校における教育相談体制の整備、いじめ・不登校対策の充実を図るもの
数値目標等		-	-	暴力行為、いじめ、不登校児童数
現状値		-	-	-
目標値		-	-	半減
実績値				暴力行為、いじめ：大幅に減少 不登校児童数：減少傾向
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
05年度実施状況等	実施内容及び課題等	<p>学校図書館用の図書の充実・質的充実 読書推進計画に基づいた図書の選書や更新したい図書について、3年間で集中的に整備し、その後も継続的に読書環境作りを図る。</p> <p>・量的充実 「必読百選」などの図書の選書を行いながら、学級数に応じた蔵書数の整備を図る。</p> <p>神辺町分(再掲) 朝の読書活動等を実施</p>	<p>子どもの自立を育成する指導体制の充実を図った。 ボランティア活動や乳幼児との交流などの社会体験活動や自然体験活動の充実を図った。 食事の摂取割合の向上と楽しい給食時間の推進を図った。 子どもの心に響く道徳教育の実践に努めた。 人権感覚を育む道徳教育の充実を図った。 健康教育の充実を図った。 健康・体力づくりをするための推進計画を作成した。 体力テストの実施と子どもの体力の実態把握を行った。</p>	<p>研修センターの相談活動の充実 適応指導教室「かがやき」の運営 スクールカウンセリングプロジェクト事業の推進 校内教育相談体制の確立 学習活動推進事業の推進</p>
2006年度計画		【継続 廃止】 学校図書館の蔵書の質的量的充実を図る。 小学校蔵書数 657,557冊(見込) 中学校蔵書数 355,233冊(見込)	【継続 廃止 新規】 継続して実施	【継続 廃止 新規】 学習活動推進事業の拡充 学習活動推進員の配置を5名から11名に増員する。
(予算額:千円)		72,400	57	33,785
備考 (特記事項)				県平均値よりも高い不登校児童出現率を、今後県平均以下に抑制する。

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	3 - 1 - 7	3 - 3 - 1 (3 - 5 - 2)	3 - 3 - 2 (3 - 5 - 6)
担当部課		学校教育部指導課	人権推進部青少年課	社会教育部中部ブロック社会教育センター
具体的な施策 (個別事業名)		就学前施設の再整備	自然研修センター事業 (ふくやまふれ愛ランド)	体験活動ボランティア活動支援 センター事業の充実
事業概要		今後の児童数の推移，地域の実態，保護者のニーズに応じた幼稚園の整備	自然環境の中で宿泊研修，野外活動，体験農業，遊びの指導等を通じて，青少年の健全育成を図るもの	コーディネーターを配置し，ボランティア活動，指導者の登録・紹介，学校や個人の活動先のマッチング等のコーディネートを実施し，子どもたちに様々な体験活動の機会の充実を図るもの
数値目標等		-	-	-
	現状値	-	-	-
	目標値	-	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値		-	
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容及び課題等	就学前施設全体での幼稚園の役割，集団保育機能を基本とした効率的な幼稚園運営を推進した。  (施設整備) 遊戯室等空調設備整備 10園	宿泊研修，野外活動，体験農業，遊びの指導等を通じた多様な体験活動の機会の提供等による青少年の健全な育成の推進を図った。また，地域における青少年の活動拠点として，積極的な受入れと活動を展開した。	・情報紙「げんき情報局」の発行は，福山市子どもの居場所づくり事業の一環として継続。 ・その他の事業は廃止した。
	2006年度計画	【継続 廃止 新規】 引野・川口東幼稚園 廃園 神辺幼稚園 休園 西幼稚園 移転 (施設整備) 遊戯室空調設備整備 3園 多目的室空調設備整備 3園	【継続 廃止】 宿泊研修，野外活動，体験農業，遊びの指導等を通じた多様な体験活動の機会の提供等による青少年の健全な育成の推進を図る。 地域における青少年の活動拠点として，積極的な受入れと活動を展開する。	【継続 廃止】 「情報紙「げんき情報局」の発行は，子どもの居場所づくり事業(地域子ども教室)へ統合。
	(予算額:千円)	14,200	102,691	-
	備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	3 - 3 - 3	3 - 3 - 3	3 - 3 - 4 (3 - 5 - 7)
担当部課	経済部農業振興課		市民図書館	社会教育部中部ブロック社会教育センター
具体的な施策 (個別事業名)	職場体験学習の受入れ		職場体験学習・インターンシッ プの受け入れ	子どもの居場所づくり事業 (地域子ども教室)の推進
事業概要	高校生の勤労体験学習の実施		中高校生の勤労体験学習の実施	コーディネーターを配置し、安 全指導員・活動指導員の登録、 子どもの居場所として地域子ど も教室を設け、放課後等におけ る体験活動や地域住民との交流 活動を図るもの
数値目標等	-		-	地域子ども教室実施箇所数 ( )内は神辺町計画で別掲
現状値	-		-	(2004年度) 16箇所(6箇所)
目標値	-		-	(2006年度) 36箇所
05 年度 実施 状況 等	実績値			25箇所
	区 分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	・実施内容 2005年11月17日～18日松永高校1 年生3名を受入れ、野菜、花卉等 の栽培管理等の実習を行った。 2006年1月30日～2月3日沼南高校 1年生1名を受入れ、野菜、花卉、 果樹等の栽培管理等の実習を行っ た。	市内全図書館で37校の職場体験 学習・インターンシップを受け入れ た。	コーディネーターによる地域子ど も教室の活動情報を収集した。 情報紙「げんき情報局」を毎月作 成し、708,000部発行。福山市 内の公立・私立の保幼小中の全児 童・生徒に1部ずつ配布した。 子どもたちから募集したげんき情 報局員による取材活動を行った。 子どもの居場所として地域子ども 教室を設け、放課後等における体 験活動や地域住民との交流を図っ た。
2006年度計画	【継続 廃止】	【継続 廃止】	【継続 廃止】	【継続 廃止】
	学校長の依頼により実施	「チャレンジ・ウィークふくや ま」にあわせて全館で職場体 験・インターンシップを受け入 れる。	地域子ども教室の内容充実 毎月の情報紙の発行やホーム ページでの情報提供の推進 子ども情報局員の募集 実施箇所数 36学区	神辺町分(再掲) 内、神辺町分6学区
(予算額:千円)	0		0	27,131
備 考 (特記事項)				(文部科学省からの委託事業)  目標値変更あり

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	3 - 3 - 5	3 - 4 - 3 (3 - 5 - 5)	3 - 5 - 3 (3 - 1 - 4・3 - 4 - 1)
担当部課	(教)管理部スポーツ振興課	児童部保育課	経済部農業振興課	
具体的な施策 (個別事業名)	生涯スポーツの振興	世代間交流事業	園芸センター農業体験 (豊かな心の育成)	
事業概要	各種大会の開催、地域への指導者の派遣、指導者の養成、気軽にできるスポーツの普及、学校施設を開放しての地域交流の推進を図るもの	保育所において老人会などと連携して、世代間交流を行い、地域の子育て機能の充実を図るもの	園芸センターでの農業体験を通じて自然や農業に触れ合う場を提供し、児童生徒の豊かな情操を養い、健全な育成を図るもの	
数値目標等	-	-	-	
現状値	-	-	-	
目標値	-	-	-	
実績値	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容及び課題等	<p>○スポーツ教室等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Happyスポーツ塾</li> <li>・地域スポーツ教室</li> <li>・スポーツデリバリーサービス</li> </ul> <p>○各種大会行事の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場で遊ぼうDAY</li> <li>・ローズアリーナフェア</li> <li>・わくわくヨット教室</li> <li>・ふくやまマラソン</li> </ul>	<p>高齢者とのふれあい(昔ながらの遊びを教えてもらう、伝統行事と一緒に楽しむなど)のなかで、核家族では経験しにくい祖父母の温もりを体験するために実施した。</p> <p>公立保育所 全所 私立保育所 25所</p> <p>職場体験学習の中学生を受け入れ、保育所児童との交流を図った。</p> <p>神辺町分(再掲)</p> <p>公立6所で実施</p>	<p>・実施内容</p> <p>金江小学校3年生28名を受入れ、花壇の草花苗の定植を行った。(6月16日ジニア等800株, 11月10日パンジー等800株)</p>
2006年度計画	【継続 廃止】	【継続 廃止】	【継続 廃止】	
(予算額:千円)	7,831	896	0	
備考 (特記事項)			福山市園芸センター農業体験実施要領に基き実施	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	3 - 5 - 4	3 - 5 - 8	3 - 5 - 9
担当部課		学校教育部指導課	市民図書館	環境部環境保全課
具体的な施策 (個別事業名)		児童生徒の健全育成の啓発、 指導	読書活動推進に向けた整備	こどもエコクラブ事業
事業概要		学校教育ビジョンに基づく豊かな心の育成をめざす取組、性教育、関係機関との連携等により、子どもの健全育成の啓発、指導を行うもの	図書館蔵書の充実及び読書に親しむ環境づくりを推進するもの	子どもたちが地域において主体的に継続的な環境活動・学習を行う機会を提供し、支援するもの
数値目標等		-	-	-
	現状値	-	-	-
	目標値	-	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値			10クラブ、会員数360人
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	性の逸脱行為等に対する保健の教科をはじめ、特別活動や道徳活動等での指導を行った。 少年の問題行動等の具体的なケースに対する関係機関との連携による組織的な対応の推進を図った。 スクールカウンセラーと教師が一体となった家庭への支援に努めた。 警察のサポートセンターとの連携を図った。 学校訪問により学校の実態把握と現状分析し、効果的な指導を支援した。	絵本と出会うふれあい事業 市内の乳幼児健診会場など35ヶ所で実施  あかちゃんといっしょのおはなし会 全館で毎月2回実施  おはなし会、工作教室、ビデオ上映会などを全館で実施	[実施内容] ・磯の生き物調査 ・水生生物調査研修会 ・星空観察会 等 [課題] ・会員数の拡大 ・各クラブ間の交流の充実
	2006年度計画	【継続 廃止 新規】 継続して実施	【継続 廃止】 全館で、絵本と出会うふれあい事業、あかちゃんといっしょのおはなし会、工作教室、ビデオ上映会などを実施	【継続 廃止】 8クラブ、会員数330人程度 研修会・自然観察会開催予定
	(予算額:千円)	0	0	522
	備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	3 - 6 - 3	3 - 6 - 4	4 - 1 - 1
担当部課		児童部保育課 児童部子育て支援課	福祉総務部福祉総務課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		地域住民、民間団体の子育て力の育成と協働	地域全体で子育てを見守り、支えあう活動の推進	児童虐待防止ネットワークの構築
事業概要		地域子育て支援センターや子育てボランティアの養成等を通じた地域住民の子育て力の育成、民間団体と市や関係機関等が実施する子育て支援事業の情報交換の推進を図るもの	民生委員児童委員との連携により、地域全体で子育てを見守り、支え合うネットワークづくりを推進する。	関係機関との情報の共有、連携による児童虐待の未然防止、早期発見、効果的対応を行うためにネットワークを構築するもの
数値目標等		-	-	虐待していると思ったこと
現状値		-	-	就学前児童12.7%、小学校児童9.3%(2003年度)
目標値		-	-	減少(2009年度)
05年度実施状況等	実績値			
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てボランティア養成にあたっては保育所の役割・支援の状況等の情報提供を行い、子育て中の保護者の現状と思いについて受講生を交えて考え合っている。(1講座)</li> <li>子育て応援センターにおけるファミリー・サポート事業や各種子育てサークルの充実を通じて、子育てボランティアの養成等地域住民の子育て力の育成を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員児童委員が子育てに関する情報提供や、子どもに関する相談を受けたり、支援を行った。</li> <li>民生委員児童委員が子育てサークルや子ども会等の児童健全育成に関する活動に支援や参画を行った。</li> <li>児童虐待に関して市(子育て支援課)や子ども家庭センターへ相談や通告を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2005年4月1日設置</li> <li>福山市行政8部、関係機関・団体20で構成</li> <li>広報ふくやまによる啓発</li> <li>市民向けリーフレットの作成・配布</li> <li>児童虐待対応マニュアルの作成・配付(総論編、保育所用、学校・幼稚園用、保健事業実施課用)</li> <li>マニュアルに基づく研修の実施</li> <li>地域ネットワークの設置推進</li> <li>代表者会議(2回)</li> <li>実務者会議(1回)</li> <li>ケース会議(42回)</li> <li>虐待通報 109件</li> </ul>	
2006年度計画	【継続 廃止】 引き続きボランティア養成を推進する。 NPO・ボランティアとの連携を図り、協働による子育て事業を推進する。	【継続 廃止】 民生委員児童委員が子育てに関する情報提供や、子どもに関する相談を受けたり、支援を行う。 民生委員児童委員が子育てサークルや子ども会等の児童健全育成に関する活動に支援や参画を行う。 児童虐待に関して、市や子ども家庭センターへ相談や通告を行う。	【継続 廃止】 前年度の事業に加えて実施するもの ・啓発用懸垂幕の作成 ・講演会の開催 ・視聴覚教材の整備 ・NPO・ボランティア団体との連携 ・要保護児童対策地域協議会への移行についての検討	
(予算額:千円)	0	84,632	1,585	
備考 (特記事項)			神辺町児童虐待防止ネットワークは合併に伴い、福山市児童虐待防止ネットワークへ統合	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	4 - 2 - 1	4 - 2 - 2	4 - 2 - 3																		
	担当部課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課																		
	具体的な施策 (個別事業名)	ひとり親家庭等自立支援事業	母子保護の実施	母子相談事業																		
	事業概要	ひとり親家庭の親が就労に有効な資格を取得するための経費の一部の助成、特定の資格を取得する期間に係る給付金の支給、ひとり親家庭の親を常用雇用に転換する事業主に奨励金を支給し、ひとり親家庭の自立を支援するもの	配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の看護すべき児童を母子生活支援施設に入所させ保護を行うとともに自立を支援するもの	家庭児童相談室における相談を充実し、母子家庭の自立支援を推進するもの																		
	数値目標等	-	-	-																		
	現状値	-	-	-																		
	目標値	-	-	-																		
05 年度 実施 状況 等	実績値	24件																				
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】																		
	実施内容及び課題等	<p>自立支援教育訓練給付金事業 就労に有効な資格を取得するための経費の一部を助成するもの(19件)</p> <p>高等技能訓練促進費事業 経済的自立に効果的な資格を取得するために2年以上修業する間の一定の期間について給付金を支給するもの(5件)</p> <p>常用雇用転換奨励金事業 ひとり親家庭の親を新規に短期雇用した後、常用雇用した事業主で一定の要件を満たす者に対し、奨励金を支給するもの(0件)</p> <p>神辺町分(再掲)</p> <p>高等技能訓練促進費(県制度) 1件</p>	<p>母子生活支援施設入所状況 (2006年3月末)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入所世帯</th> <th>入所人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久松寮</td> <td>8</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>松永寮</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>9</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>市外委託</td> <td>8</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>久松寮においては、入所者が増えたが、松永寮においては、入所者が減少した。            近年、DV被害を被った母子世帯の市外施設への措置委託が増加している。( )</p>		入所世帯	入所人数	久松寮	8	19	松永寮	1	4	小計	9	23	市外委託	8	19	合計	17	42	<p>・相談員4名配置(ひとり親家庭自立支援員と兼務)</p> <p>・母子世帯の自立支援に向けた相談・助言を行った。</p> <p>・相談件数 3,270件 (母子寡婦福祉資金の貸付・償還相談を含む)</p>
	入所世帯	入所人数																				
久松寮	8	19																				
松永寮	1	4																				
小計	9	23																				
市外委託	8	19																				
合計	17	42																				
	2006年度計画	【継続 廃止】 自立支援教育訓練給付金、高等技能訓練促進費の申請者に対し、自立支援計画の策定を行い、自立促進を図る。	【継続 廃止】 2施設の定員は現状を維持	【継続 廃止】 母子家庭自立支援プログラム策定員と連携し、自立支援を推進する。																		
	(予算額:千円)	7,529	63,158	10,908																		
	備考 (特記事項)		市外施設への措置委託料を含む。 (2施設分予算16,315千円)	家庭児童相談室事業(2-2-3)と合算																		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	4 - 2 - 4	4 - 3 - 1	4 - 3 - 3
担当部課		児童部子育て支援課	学校教育部指導課	児童部保育課
具体的な施策 (個別事業名)		ひとり親家庭への経済的支援	障害児の教育	障害児保育
事業概要		ひとり親家庭への経済的支援を行うもの	障害のある幼児，児童生徒の教育的ニーズを把握し，必要かつ適正な個に応じた教育を推進するもの	家庭において保育に欠ける障害児を受け入れ，保育の保障を行うもの
数値目標等		-	-	-
	現状値	-	-	-
	目標値	-	-	-
05 年度 実 施 状 況 等	実績値			
	区 分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容及び課題等	<p>児童扶養手当 コード 2-5-10参照 ひとり親家庭等医療費助成 コード 2-5-6参照 遺児年金 コード 2-5-13参照 母子及び寡婦福祉資金貸付金 コード 2-5-18参照</p>	<p>児童の実態や就学前施設での状況，こども家庭センター，医療機関等と連携した総合的な判断による適切な教育の実施に努めた。</p> <p>発達障害のある児童への理解と対応について教職員の資質向上のための研修を実施した。</p> <p>「特別支援教育」に向けて，教育相談体制や校内支援教育体制の整備を図った。</p> <p>全ての小中学校において校内委員会の設置と特別支援教育コーディネーターを指名した。</p> <p>神辺町分(再掲)</p> <p>障害児学級設置 教員の資質向上 就学指導委員会の充実</p>	<p>・集団保育可能な希望児童について実施(2005年度手帳所持児童41人，その他課題のある児童約840人入所)</p>
	2006年度計画	【継続 廃止】 児童扶養手当 遺児年金 母子及び寡婦福祉資金貸付金 現状継続 ひとり親家庭等医療費助成 8月から一部負担金導入	【継続 廃止 新規】 小中学校20校に学校支援員(非常勤嘱託職員)を配置する。	【継続 廃止】 集団保育可能な希望児童について実施
	(予算額:千円)		36,938	100
	備 考 (特記事項)		特別支援教育体制推進事業(新規事業)	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	4 - 3 - 4	4 - 3 - 5	4 - 3 - 6
担当部課		児童部保育課 学校教育部指導課	保健所健康推進課	福祉部障害福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		ことばの相談室	療育相談・療育支援システム	支援費制度の充実
事業概要		言語の発達に課題がある児童を 専門的に指導援助し、その軽減、克服を図るもの	疾病や障害を早期に発見し、適切な支援が行える体制の整備を行うもの	障害のある児童に早期療育を提供して健全な発達を支援するとともに、各種サービスを提供することで保護者の負担軽減を図るもの
数値目標等		-	-	-
現状値		-	-	-
目標値		-	-	-
実績値			療育相談：98回	
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
05 年度 実施 状況 等	実施内容 及び課題等	(実施状況) 発音について保育所、幼稚園における専門的な指導・支援を行った。 ・保育所4所、幼稚園4園で実施 ・利用人数 保育所 延べ2,861人 幼稚園 延べ3,267人 (課題) ・件数の増加により、相談回数の確保が困難になりつつある。 ・ことばのみの課題は少なく、発達全般の課題・保護者支援の比重が高くなっている。	保健事業実施課(健康推進課、松永保健福祉課、北部保健福祉課、沼隈保健福祉課、神辺保健福祉課)において、毎月実施している。スタッフは心理相談員・保育士・保健師である。 実施回数 98回(内、神辺分2回) (課題) 療育相談に参加する必要であるにもかかわらず参加しない児童がある。	障害者(児)に支援費制度によるサービスを提供。  心身障害児居宅介護事業 利用時間数 12,537時間 心身障害児通所サービス事業 利用時間数 7,821時間 心身障害児短期入所事業 利用時間数 4,916時間
		神辺町分(再掲)  湯田幼稚園 延べ年441人	神辺町分(再掲)  療育相談：2回(3月分) 合併前は、月2回実施	神辺町分(再掲)  福山市と同様
2006年度計画		【継続 廃止】 実施箇所 保育所4 幼稚園4	【継続 廃止】 療育相談：120回  未参加者の療育相談への参加を働きかけ、療育支援システムを活用し、早期支援を図る。	【継続 廃止】 障害者自立支援法の施行(4月)により、サービス体系が変わる。 10月から障害児施設は契約方式に変わり、サービスにかかる費用は1割負担、食費・光熱水費は実費負担になる。
(予算額:千円)		0	1,487	127,473
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	4 - 3 - 7	4 - 3 - 8	5 - 1 - 1
担当部課		福祉部障害福祉課	福山すこやかセンター	人権推進部人権推進課
具体的な施策 (個別事業名)		重症心身障害児(者)通園事業	水中活動モデル講座	ユニバーサルデザインの推進
事業概要	在宅重症心身障害児(者)に対し、通園により日常生活動作、運動機能などの訓練、指導者や保護者に対し、家庭での療育技術の指導を行うもの	福山すこやかセンター水浴訓練室において、医師会と連携し、障害児(者)を対象とした水中活動の指導者の育成を図り、障害状況別指導メニューの確立を行うもの	年齢、性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての人が快適な暮らしができる社会をめざし、総合的かつ効果的にユニバーサルデザインを推進するもの	
数値目標等		-	-	-
	現状値	-	-	-
	目標値	-	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値			
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容及び課題等	在宅の心身障害児(者)に通園により療育支援を行う。 福山若草園(重症心身障害児施設)で実施 登録者数 14人  神辺町分(再掲)  実施していない	実施内容 ・オープン型の講座(6回) { 講義 実技指導 ヘルパー研修 ・育成された指導者による実技指導 6団体 18回 ・ハロウィック水泳教室 知的障害児 第1土曜日 身体障害児 第3土曜日 (課題) 講座内容の充実 育成された指導者の活動をどのように展開していくか。	各課より取り組みについての状況を調査した (集約は次のとおり) ユニバーサルデザインの視点に立って施策の実施に取り組み、職員の理解や接遇等心のユニバーサルデザインの充実が図られてきた。道路や建物整備においてもユニバーサルデザインの考え方を取り入れた事業がなされ、市民の利便性の向上・安全確保に資している。 (課題) まだまだ市民に理解されていない面もあり、啓発活動による市民意識の高揚を図る必要がある。
	2006年度計画	【継続 廃止】 前年と同様  開設日 293日 登録 15人  神辺町分(再掲) 合併によりサービス利用が可能となる。	【継続 廃止】 ・日本ハロウィック水泳法協会による水泳講習会開催(2回) ・オープン型の講座(5回) ・育成された指導者による実技指導 ・ハロウィック水泳教室	【継続 廃止】 各種研修会での啓発や啓発資料を活用しての周知に努める。
	(予算額:千円)	17,331	3,310	0
	備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	5 - 1 - 1	5 - 1 - 1	5 - 1 - 2
担当部課		都市部公園緑地課	都市部公園緑地課	生活安全推進課
具体的な施策 (個別事業名)		ユニバーサルデザインの推進	ユニバーサルデザインの推進	生活安全モデル地域の指定
事業概要		公園出入口車止め改修 公園出入口改修	街路樹等安全対策事業	生活安全モデル地域を指定し、 住民参加のもと、安心して子育て ができる安全なまちづくりを 推進する。
数値目標等		-	-	-
現状値		-	-	-
目標値		-	-	-
実績値	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容及び課題等	出入口のバリアフリー化(出入口 の改修) 5件 課題として 入口が拡がり、バイク等の不法侵入 もありえる。	街路樹等により、歩行者等の通 行に支障をきたしている箇所につ いて、支障の状況に応じ、維持補 修を計画的に推進し、歩行者等の 安全を確保した。18区域	実施内容 住民参加のもと、安全なまちづくり を推進する地域に、年額10万円×2 年間を助成  ・継続 1地域 (松浜町一丁目・入船町二丁目・ 住吉町) ・新規 1地域(深津学区)  課題 モデル地域の指定期間のみでな く、継続した運動が望まれる。  神辺町分(再掲)  制度なし
2006年度計画	【継続 廃止】	車止め改修 11箇所	【継続 廃止】 18区域	【継続 廃止】 ・継続 1地域(深津学区) ・新規 3地域
(予算額:千円)		1,433	4,000	400
備考 (特記事項)				2006年度機構改革により主管 課変更 「市民相談課」から「生活安全推 進課」へ

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	5 - 2 - 1	5 - 2 - 1	5 - 2 - 1		
担当部課		児童部保育課	人権推進部青少年課	学校教育部指導課		
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保	子どもの安全確保	子どもの安全確保		
事業概要		保育所, 幼稚園, 学校, 家庭, 地域が一体となった危機管理体制を確立し, 子どもの安全確保に努めるもの	保育所, 幼稚園, 学校, 家庭, 地域が一体となった危機管理体制を確立し, 子どもの安全確保に努めるもの	保育所, 幼稚園, 学校, 家庭, 地域が一体となった危機管理体制を確立し, 子どもの安全確保に努めるもの		
数値目標等		-	-	-		
現状値		-	-	-		
目標値		-	-	-		
05 年度 実施 状況 等	実績値		-			
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】		
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立全所へ防犯装置(腕時計式)の配布</li> <li>・公立全所へ安全対応マニュアル作成配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学区青少年補導員協議会や地域の各団体等と連携を図り, 登下校時の子どもの見守りや, 不審者情報の共有化を図るとともに, 非行防止・環境浄化を中心とした補導活動を実施する中で, 地域パトロールを実施した。</li> </ul> <p>神辺町分(再掲)</p> <p>補導員の委嘱 30人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理マニュアルによる安全性の確保に努めた。</li> <li>生徒指導体制の確立を図った。</li> <li>安全確保のための保育所, 幼稚園, 学校, 家庭, 地域の連携の強化を図った。</li> <li>小学校への緊急通報システムの導入を図った。</li> <li>保育所, 幼稚園でのセキュリティ対策を実施した。(腕時計式防犯装置)</li> <li>全園児・児童への防犯ブザーを配布した。</li> <li>スクールガードリーダー導入による地域連携等への指導助言を行った。</li> <li>スクールサポートボランティア事業を実施した。</li> </ul>		
2006年度計画	【継続 廃止】	安全対応マニュアルによる避難指導の充実を図る。	【継続 廃止】	前年度の実施内容をさらに充実・強化し, 子どもの安全確保に努める。	【継続 廃止 新規】	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールガードリーダー導入による学校への指導助言の実施</li> <li>児童生徒による地域安全マップ作成の取組みの推進</li> <li>緊急通報システムを活用した緊急時対応訓練の実施</li> </ul>
(予算額:千円)		0	1,560	17,459		
備考 (特記事項)			学区青少年補導員協議会 78学区 × 20千円 = 1,560千円			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	5 - 2 - 2	5 - 2 - 3	5 - 3 - 1
	担当部課	人権推進部青少年課	人権推進部青少年課	人権推進部青少年課
	具体的な施策 (個別事業名)	非行防止活動の推進	「子ども110番の家」推進事業	社会環境浄化活動の推進
	事業概要	関係機関、関係団体の連携強化による非行防止の推進	子どもを犯罪等の被害から守るため、市内全学区に「子ども110番の家」の活動を実施し、地域の住民と連携して、子どもを被害から守る活動の支援を行うもの	行政、関係機関、関係団体等が連携を強化する中で、家庭、学校、地域が一体となって、青少年の健全育成に取り組むもの
	数値目標等	-	-	-
	現状値	-	-	-
	目標値	-	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値			
	区分	【継続 新規】	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	関係機関・団体等に対し、情報提供を実施するとともに、連携強化を図る中で活動支援を実施した。また、青少年補導員協議会等を対象とした会議・研修会を実施した。	防犯に関する意識啓発・PRの推進や、「子ども110番の家」表示プレートやマニュアルを作成し配布した。また、地域での活動に対する支援の推進を図るとともに、情報の共有化を図るため、「子ども110番の家だより」を発行した。  協力軒数 5,524軒 (2006年3月末)  神辺町分(再掲)  協力軒数 451軒	関係機関・団体と連携を強化する中で、少年社会環境浄化モニターによる実態調査及び、啓発活動を実施した。また、関係業界に対し、環境浄化への協力を依頼した。
	2006年度計画	【継続 廃止】 関係機関・団体等に対し、情報提供を実施するとともに、連携強化を図る中で活動支援を、一層充実したものとする。また、青少年補導員協議会等を対象とした会議・研修会を実施する。	【継続 廃止】 「子ども110番の家」をさらに拡充し、強化を図るとともに、情報の共有化を充実するため、2005年度から発行した「子ども110番の家だより」を年数回発行する。また、学区青少年補導員協議会をはじめ、各民主団体等との連携を図る。	【継続 廃止】 前年度の実施内容をさらに充実・強化し、環境浄化に努める。  神辺町分(再掲) 有害図書等販売店への協力依頼 年間2回
	(予算額:千円)	2,480	500	687
	備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における  
**具体的な施策（個別事業）の実施状況等報告書**

【継続事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	5 - 4 - 1	5 - 4 - 2
担当部課		生活安全推進課	生活安全推進課
具体的な施策 (個別事業名)		交通安全教室	チャイルドシートの着用の 指導，啓発の推進
事業概要	小中学校の入学児童や保育所入 所児童，幼稚園児を対象に交通 公園における参加体験型の交通 指導や交通安全教育専門員の派 遣による移動交通安全教室， 「交通安全ファミリーランド」 を開催し，交通安全意識の普及 啓発を行うもの。	乳幼児の安全のため，チャイル ドシート着用の指導，啓発を推 進するもの。	
数値目標等		-	-
	現状値	-	-
	目標値	-	-
05 年度 実施 状況 等	実績値		
	区 分	【継続 新規】	【継続 新規】
	実施内容 交通安全教育専門員 4名配置  交通安全教室開催数 335回 参加者数 延べ47,222人  課題 教室開催の申し込みのない保育所 等への開催希望依頼をする。	実施内容 各種イベント開催時等におい て，チラシを配布し，啓発を 行った。 引き続き，着用啓発の強化す る。  神辺町分(再掲)  チャイルドシート貸出 10件	
2006年度計画	【継続 廃止】  交通安全教室 開催数 約350回 参加者数 約48,000人  神辺町分(再掲)  福山市の制度に統一	【継続 廃止】  各種イベント開催時における チラシ，リーフレット配付によ る啓発  神辺町分(再掲)  貸出事業は廃止，引き続き，福山市に おいても着用の啓発を強化する。	
(予算額:千円)		7,675	0
備 考 (特記事項)	2006年度機構改革により主管課 変更 「市民相談課」から「生活安全推進 課」へ	2006年度機構改革により主管課 変更 「市民相談課」から「生活安全推進 課」へ	

# 新 規 事 業

## 【新規事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	3 - 1 - 1	3 - 1 - 1	3 - 1 - 1
担当部課	学校教育部指導課	学校教育部指導課	学校教育部指導課	指導課
具体的な施策 (個別事業名)	少人数指導推進支援事業 (確かな学力の向上)	学校評価推進事業 (確かな学力の向上)	学校評価推進事業 (確かな学力の向上)	キャリア教育推進事業 (確かな学力の向上)
事業概要	<p>少人数指導等の個に応じた指導の充実を通して、すべての児童生徒が自ら学び、自ら考え、生涯にわたって学び続ける基礎となる確かな学力を培う。</p> <p>小学校35校、中学校15校に非常勤講師(少人数指導推進員)を配置し、少人数指導の充実に向けて取り組む。</p> <p>小学校では国語、算数を、中学校では国語、数学、英語を基本に、基礎的な学力の定着を図るための教育内容の充実及び少人数指導の工夫改善に取り組む。</p>	<p>外部評価を活用して学校の自己評価の精度を高め、保護者・地域への説明責任を果たすとともに、本市学校教育の資質向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価自己評価の実施</li> <li>・教育委員会が委嘱した外部評価者による評価の実施</li> </ul>	<p>児童生徒が「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟にかつ、たくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育が強く求められている。このような状況の下、児童生徒にしっかりとした勤労観・職業観を身に付けさせるため、「チャレンジ・ウィークふくやま」(地域で進める5日間の職場体験学習)を推進するためのシステムづくり等、キャリア教育の推進を図る。</p>	
数値目標等	-	-	-	
現状値				
目標値				
2006年度計画 (見込)	<p>推進校における取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容や学習場面に応じた効果的な指導方法の工夫</li> <li>・児童生徒の実態に応じた習熟別指導の充実</li> <li>・補充、発展的な学習内容の充実</li> <li>・形成的評価による指導の改善、充実(指導と評価の一体化)</li> </ul> <p>少人数指導推進員研修会の実施</p>	<p>学校評価自己評価の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価委員会による組織的な取組</li> <li>・「目標の連鎖」「選択と集中」による実行ある取組</li> <li>外部評価の導入による客観的かつ総合的な評価の確立</li> <li>・外部評価グループの編成</li> <li>・外部評価連絡協議会の実施</li> </ul>	<p>「チャレンジ・ウィークふくやま」(5日間の職場体験学習)の円滑な実施に向けて</p> <p>地域(各中学校区)を中心とした全市一斉での5日間の職場体験学習に係る受け入れ先の確保と円滑な実施に向けての体制づくり</p> <p>望ましい勤労観・職業観の育成をめざしたキャリア教育の推進</p> <p>様々な課題に柔軟にかつ、たくましく対応することをめざした体験プログラムづくり</p> <p>学校及び受け入れ事業所に配布する指導の手引の作成</p> <p>事業の円滑な実施に向けての組織的な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員会における各学校の取組みの交流</li> <li>生徒を見守っていただけるようなネットワークづくり</li> <li>・期間終了後の関係機関との継続的な連携</li> <li>市民への啓発</li> <li>本年度の成果と課題の整理</li> <li>・次年度以降の取組みへの反映</li> </ul>	
(予算額:千円)	117,890	205	57	
備考 (特記事項)				

# 新 規 事 業

## 【新規事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	3 - 3 - 5	4 - 2 - 1	4 - 2 - 1
担当部課	(教)管理部スポーツ振興課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	
具体的な施策 (個別事業名)	(仮称)沼隈運動公園整備 (生涯スポーツの振興)	ひとり親家庭就業・自立支援 センター事業 (ひとり親家庭等自立支援事業)	母子家庭自立支援プログラム 策定事業 (ひとり親家庭等自立支援事業)	
事業概要	おとなから子どもまでスポーツ を楽しんだり、世代間交流がで きる運動公園を整備する。	ひとり親家庭の母等に対し、家 庭の状況、職業適性、就業経験 等に応じ、適切な助言を行う就 業相談の実施、習熟度に応じ段 階的に実施する就業に結びつき やすい就業支援講習、公共職業 安定所と連携した就業情報の提 供など一貫した就業支援サービ スを提供するとともに養育費の 取り決めなど専門家による相談 など生活の安定と児童福祉の増 進を図る。	児童扶養手当受給者の状況・ニー ズに応じ、自立支援計画書を策 定し、きめ細かな自立・支援を 実施する。	
数値目標等	-	-	-	
現状値				
目標値				
2006年度計画 (見込)	(仮称)沼隈運動公園整備 グランド整備工事、夜間照明・ トイレ・器具庫設置ほか	就労支援員を配置し、次の事 業を行う。 (1)就業支援事業 無料職業紹介所の認可を受 け、家庭の状況、職業適性、就 業経験等に応じ、適切な助言や 就業相談の実施、就業情報の提 供等を行う。 (2)就業支援セミナー開催 就業経験の無い者、離職機関 が長い者、転職を希望する者等 を対象とした就業支援セミナー の開催 (3)特別相談事業 養育費の取り決めや生活上の 諸問題の解決のため、弁護士に よる専門相談を実施	就業・自立支援センター内に母 子自立支援プログラム策定員を 配置し、児童扶養手当受給者の 自立支援を行う。	
(予算額:千円)	255,010	2,132	1,376	
備 考 (特記事項)				

# 新 規 事 業

## 【新規事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	4 - 3 - 1	5 - 2 - 1	5 - 2 - 1
担当部課		学校教育部指導課	児童部子育て支援課	人権推進部青少年課
具体的な施策 (個別事業名)		特別支援教育体制推進事業 (障害児の教育)	児童安全啓発事業 (子どもの安全確保)	パトロール用ベスト配布事業 (子どもの安全確保)
事業概要	<p>通常学級に在籍するLD, ADHD, 高機能自閉症等のある幼児児童生徒への指導・支援を学校体制として組織的に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼稚園及び各小中学校に校内委員会の設置と特別支援教育コーディネーターを指名する。</li> <li>・特別支援教育推進校に非常勤嘱託職員(学校支援員)を配置する。(小中15校を指定)</li> <li>・巡回相談員を委嘱し,巡回相談による校内研修の支援と発達障害のある幼児児童生徒への理解と対応について教職員の資質向上のための研修を実施する。</li> </ul>	<p>子どもを犯罪などの危険から守るために保護者や地域住民が,子どもの安全についてより理解を深め見守っていくとともに,子ども自身が危険から回避できる力を身につけていく啓発を行う。</p>	<p>学区青少年補導員に対し,子どもの安全確保及び街頭補導のための,パトロール用ベストを配布し,積極的な活動を促進する。</p>	
数値目標等		-	-	-
現状値				-
目標値				-
2006年度計画 (見込)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内委員会の設置</li> <li>・特別支援教育コーディネーターの指名</li> <li>・学校支援員の配置(4月)</li> <li>・特別支援教育コーディネーター研修の実施</li> </ul>	<p>(1)「(仮題)子どもの安全応援ガイド」の作成・配布 子ども・保護者,保育所・幼稚園・学校関係者等に配布</p> <p>(2)保育所・幼稚園・学校関係者等を対象とした研修会の実施 ガイドを活用して,研修会を実施</p>	<p>市内78学区の青少年補導員協議会約1,900人に対して,パトロール用ベストを配布し,子どもの安全確保に努めるとともに,地域における非行防止・環境浄化活動等の促進を図る。</p>	
(予算額:千円)		36,938	1,615	4,709
備 考 (特記事項)				

# 新 規 事 業

## 【新規事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	5 - 2 - 1	5 - 2 - 1	5 - 2 - 1
担当部課	人権推進部青少年課	児童部庶務課 他( )	学校教育部指導課	
具体的な施策 (個別事業名)	通学路沿い公共施設 安全対策事業 (子どもの安全確保)	保育所、幼稚園、放課後児童ク ラブへの緊急通報システム整備 (子どもの安全確保)	児童生徒安全確保対策 (子どもの安全確保)	
事業概要	通学路沿いの公共施設に防犯カ メラシステムを設置し、通学途 中の児童等の防犯を図る。	保育所、幼稚園、放課後児童ク ラブにおける不審者の侵入や事 故などの有事に備えて、園児、 児童の安全を確保するため、保 育所、幼稚園、放課後児童ク ラブに緊急通報システム(注)を 整備し、安全対策の態勢強化を 図る。  (注) 緊急時に県警本部総合司令室に 自動通報し、発信元を直接確認 でき、相互に通話が可能。	・市教委が収集した不審者に関す る情報を、携帯電話等のメール機 能を利用したメール配信により、保 育所・幼稚園・学校・各施設の保護 者・教育関係団体及び地域の各種 団体に情報提供するシステムを構 築し、児童生徒の安全確保を図る。  ・受信希望者が携帯電話等を通し 必要な情報(学校名・学年・組・メー ルアドレス等)を、メール配信用 サーバに登録することによって、市 教委が収集した不審者に関する情 報について、市教委はメール配信 サーバから保育所・幼稚園・学 校・各施設の受信希望者(保護 者)・教育関係団体及び地域の各 種団体に対し、携帯電話等のメー ル機能を利用したメール配信によ り情報提供を行うことで児童生徒 の安全確保を図る。	
数値目標等	-	-	-	
現状値	-	-	-	
目標値	-	-	-	
2006年度計画 (見込)	通学路沿いの公共施設に、防犯 カメラシステム(防犯灯・カメ ラ・緊急ボタンの3点セット) を設置し、児童・生徒等の安全 確保とともに、地域の安全対策 を図る。	整備対象施設 ・保育所 市立75施設 私立51施設 ・幼稚園 市立24施設 私立23施設 ・放課後児童クラブ 71施設 (私立保育所実施の3施設除く。) 機器の機能 ・緊急時に県警本部総合司令室に自 動通報 ・県警本部総合司令室で発信元を直 接確認でき、相互に通話が可能 機器の構成 ・親機 1台 子機からの緊急通報を受信し、県 警本部総合指令室へ自動通報 ・ワイヤレス子機 2台 ペンダント型の小型ワイヤレス子 機で緊急通報を親機に発信、内蔵マ イク及びスピーカーで県警本部総合 司令室との通話が可能 ・発信確認ランプ 1台 緊急通報の発信を確認 私立施設への整備については、補 助制度を創設する。	(1)入札(業者決定) 4月予定 (2)学校への説明 市内の小中合わせて8ブロック (東部1・東部2・西部・南部・北部・ 中部1・中部2・北東部)に分け、操 作説明 (3)保護者・地域への説明 メール配信の趣旨および登録方法 について、学校、幼稚園、保育所お よび各種団体グループの代表者を 通じ、保護者や地域の関係者に説 明文を配布	
(予算額:千円)	4,532	45,872	5,007	
備 考 (特記事項)		( )その他の関係部署 (教)学校教育部指導課 (教)社会教育部社会教育振興課		

# 新 規 事 業

## 【新規事業用】

コード	基本方針・基本 施策・個別事業	5 - 2 - 1	5 - 2 - 1	5 - 2 - 1
	担当部課	学校教育部指導課	協働のまちづくり課( )	教育委員会管理部施設課
	具体的な施策 (個別事業名)	通学時安全確保対策 (子どもの安全確保)	学区自治会(町内会)連合会 への情報提供事業 (子どもの安全確保)	通学路防犯灯整備 (子どもの安全確保)
	事業概要	<p>・児童生徒の通学時の安全確保を図るために、小学校の新入生に防犯ブザー・ランドセル用防犯ブザーストラップ及びランドセルシールを配布する。</p> <p>・配布時に児童に防犯ブザー等の取り扱いについて指導することを通して、児童が危険から自分を守ることができる危機回避能力の育成を図る。</p> <p>・市内在住又は通学の小学校新入児童に対し、防犯ブザー・ランドセル用防犯ブザーストラップ及びランドセルシールを年度始めに配布する。</p>	<p>全学区の自治会(町内会)連合会へ情報提供用ファックスを購入・貸与し、地域における安全確保のための注意や対策が必要と思われる不審者情報や災害情報等をファックスで提供することにより、地域における子どもや市民の安全確保体制を支援する。</p>	<p>通学路に防犯灯を設置することにより、通学時の児童・生徒の安全確保と地域住民の安全対策を図る。</p>
	数値目標等	-	-	-
	現状値	-	-	-
	目標値	-	-	-
	2006年度計画 (見込)	<p>・防犯ブザー 5,000個</p> <p>・ランドセル用防犯ブザーストラップ 5,000本</p> <p>・ランドセルシール 5,000枚</p> <p>対象は2007年(平成19年)4月入学予定の新入生とする。</p>	<p>2006年度の各学区自治会(町内会)連合会長が決定されしだい会長宅へファックスを取り付ける。</p>	<p>小学校(78校)、中学校(36校)の各校区内に10基設置</p>
	(予算額:千円)	3,276	1,373	81,880
	備 考 (特記事項)		<p>2006年度、「まちづくり推進課」から「協働のまちづくり課」へ課名変更</p>	